

## 令和元年度 茅野市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化や核家族化の進行、人間関係の希薄化、働き方などの生活様式の変化に伴って地域社会は大きく変容し、さらに、経済情勢や雇用環境の厳しさの長期化も相まって、社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、権利擁護の問題など、地域における生活課題は深刻化しています。こうした今日的な地域の生活課題を受け止め、その解決に向けた取組を進めることが社協には求められています。

また、今日の生活課題の深刻化や多様化の状況において、様々な主体が地域福祉の実践に取り組む中、改めて現在の社協活動が、住民が抱える生活課題の解決につながっているのか、社協の使命を果たすものになっているのか、自ら評価・検証する必要があります。そのうえで、国がすすめる「地域共生社会」の実現に向けた仕組みづくりや地域福祉活動を実践するための取組を進めなければなりません。

令和元年度は、「第2次茅野市社協発展強化計画(2019年度～2023年度)」の策定により、経営理念を改めるとともに、地域社会との連携強化、権利擁護と説明責任、提供するサービスの向上と人材育成、コンプライアンスと組織力強化、財務基盤の安定、の5つの経営方針を掲げ、日々の活動を通じて、「地域住民等」の期待に応えられよう取り組むこととしました。

一方、各地区においては、住民参加による「第3次地域福祉行動計画(2020年度～2024年度)」づくりなどを通じて、地域福祉のパートナーである行政との連携を強化し、地域福祉の推進に積極的な取組を行ってきました。さらに、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けられるように、時代や社会の変化に即応しながら、ボランティア人材の育成や、地域におけるボランティア活動・市民活動支援といった住民主体の地域福祉を推し進める取組の他、各種福祉サービスや福祉事業の受託事業を数多く担ってきました。

こうした取組をする中、茅野市社協を取り巻く地域福祉推進課題は山積しています。地域における総合相談・生活支援体制の強化・確立への取組、きめ細やかな日常生活支援(生活困窮者支援、権利擁護)、ボランティア・市民活動支援と活動者・団体の育成、災害支援体制の構築など、それぞれの課題に対し具体的に取り組まなければなりません。

そのためにも、茅野市社協は、引き続き地域福祉の推進に主体的にかかわるとともに、その役割を最大限発揮するために、社協組織を取り巻く様々な変化に対応し、地域福祉のニーズに基づく事業を継続的に展開してまいります。「地域福祉の推進」を使命とする茅野市社協は、今後も、「地域福祉計画」「地域福祉行動計画」「発展強化計画」の実践に取り組んでまいります。

## 総務・企画系の主要な取り組み

令和元年度は、社会福祉法人としての法令遵守を意識し、健全な法人運営に努めました。管理運営業務として理事会・評議員会・経営委員会等の開催や、予算・決算等の経理業務、職員採用、勤怠管理、諸規定の見直し、寄付金、会員及び会費の管理、車両備品等の管理、ホームページの更新、社協広報紙の発行及び社会福祉大会の開催等を行いました。

### (1) 社協会費・共同募金

総務・企画系の職員が各地区区長会に出席し、社協会費の納入依頼を行いました。また、新たに、法人会員の種別を創設し、令和2年度から運用開始をします。

### (2) 諸規程の整備

就業規則をはじめ、時事に合わせて各規程の整備を行いました。特に、これまで制定されていなかった必要な規程等の新規制定や、既存の規程等の見直しを行いました。(主な改正規程等の数：新規制定14、全面改正6、廃止7)

### (3) 災害時に対する備え及び支援

災害時の職員行動やボランティアセンターの設置・運営等について、マニュアルや計画を策定・整備しました。

また、令和元年東日本台風災害における災害ボランティアセンターの運営支援として職員を派遣しました。

さらに、被災地に対し、被災住民及び被災地域の一日も早い復旧・復興に寄与するとともに、災害の経験から得た教訓及び知識を茅野市で活かしていく機会として、市民等から災害ボランティアを募集しバス派遣を実施しました。

### (4) 第2次発展強化計画の策定

2019年度を初年度とする「第2次茅野市社協発展強化計画(2019年度から2023年度までの5カ年計画)」を策定しました。策定に当たっては、2019年度に、事務局内協議、経営委員会、そして理事会(2020.1.30議決)を経ての策定となりました。

### (5) 茅野市社協における新型コロナウイルス感染症対策

国内の感染者の状況を注視し、予測される事態に備えるとともに、事前に対応可能な施策を進めるため「新型コロナウイルス感染症に伴う段階別事業継続計画」を策定するとともに、茅野市新型コロナウイルス感染症対策本部と情報共有を図り、感染症予防対策等の速やかな対応に努めました。

## 主な課題と今後の方向性

### 管理運営事業

茅野市社協の財政再建は最優先事項と考えます。財政が安定していなければ茅野市社協事業の今後の展開に影響が出る恐れがあります。積立金の取り崩しに頼っている中、茅野市社協として実施すべき事業が何か。財源確保をどうしたらできるか。茅野市社協として投資してでも実施していくべき事業をどのようにしていくのかなどの選択が求められています。

今後は、第2次茅野市社協強化発展計画に沿って、人事評価や事務事業評価の導入と実践といったマネジメント機能の強化と、法人会員制度の効果的な運用等による財源の確保に、重点的に取り組みます。

### 広報・啓発事業

茅野市社協は、広報紙「やらざあ」、ホームページの他、事業によっては地元新聞社への記事掲載依頼等により広報活動を進めています。

令和元年度は、新たな情報提供のツールとしてFacebookの利用を開始しました。社協の情報を受け取ってもらう層をさらに広げていくため、他のSNSの活用と機械整備を図り、よりタイムリーな情報提供を進めます。

#### 地域における災害支援体制の構築

大規模な自然災害が頻発する昨今、茅野市においても大規模な災害が発生した際には、茅野市社協には、地域住民から大きく期待が寄せられる機能・役割があります。また、災害によっては、地域のつながりが断たれてしまうことが想定され、地域における災害支援体制の構築が喫緊の課題となっています。

このような中で、災害時には、ひと・まちプラザを事業拠点とした茅野市社協の機能を維持しなければなりません。特に、茅野市社協業務継続計画（BCP）に基づき、業務内・業務外問わず、発災時にどう対応するか。職員、利用者、地域の地域福祉推進リーダーの安否確認を含めた初動体制について、確認をする必要があります。

また、被災地の支援と合わせて、職員や市民の災害時対応における知識や経験の蓄積を図るため、災害時相互応援協定に基づく対応や、必要に応じて、茅野市の支援のもと令和元年度に行った市民等を対象とした災害ボランティアバスの運用を、引き続き行います。

## 日常生活支援係の主要な取り組み

生活課題の早期発見や潜在的なニーズの把握を積極的に行い、生活のしづらさを抱えた個人やその家族に寄り添い、共に課題解決ができるよう総合的な支援に努めました。具体的には、貸付事業と家計相談、日常生活自立支援事業と成年後見支援センターなどの相談事業、シャララ・ほっとサービスや配食サービスなど、複数の事業や制度を状況に応じて、より効果的に活用し、関係機関とも連携を図りながら、課題解決に取り組みました。

令和元年度は、以下の5項目を重点にして各事業に取り組みました。

### (1) 潜在的な生活課題・福祉課題の把握

地域福祉活動推進係のコミュニティソーシャルワーカーと連携して、生活支援サービスの申請受付に携わり、要援護者のニーズを丁寧に受け止め、迅速に必要なサービスの利用につなげました。さらに、サービスの利用だけでなく、生活全般を支えるための支援体制の構築に努めました。

### (2) 茅野市・富士見町・原村成年後見支援センターの運営

茅野市・富士見町・原村の3市町村から受託する成年後見支援センターにおいて、成年後見制度に係る二次相談窓口として、制度の普及、啓発、相談、円滑な制度利用促進のための支援を実施しました。また、日常生活自立支援事業も担うことで、権利擁護支援が必要な人に対して相談者の判断能力に応じた解決策を見出せるよう相談・支援に努めました。

### (3) 貸付事業等を中心にした生活困窮者の課題解決

利用者の貸付審査や償還指導だけでなく、家計収支全体の改善を図り、生活の困窮状態から早期に脱却できるよう、利用者とともに原因の分析と解決すべき課題の整理(家計相談支援)を行いました。課題解決に向けては、まいさば茅野市と連携を取りながら、支援に努めました。

### (4) 生活支援サービスの見直し

配食サービスや移送サービスについては、今後の事業見直しのため、サービスを継続して利用されている利用者に対して、状況把握のため再訪問やアンケート調査を行い、料金改定やサービス内容の見直しに取り組みました。

### (5) (仮) お買い物バスの検討

茅野市社協が保有する車両を活用した独自の買い物支援バスの運行に向けて、地域福祉活動推進係のコミュニティソーシャルワーカーが、各地区のニーズ調査を行いました。その調査結果を元に、モデル地区の選定まで行いましたが、地区役員等の協議、バスの試行を実施するには至りませんでした。

## 主な課題と今後の方向性

### 生活困窮者支援事業

茅野市社協では、生活困窮者の自立を支援することを目的に、生活福祉資金貸付事業、暮らしのつなぎ資金貸付事業、生活困窮者自立支援事業を展開しています。

今後も、まいさば茅野市との連携を図りながら、茅野市社協内の各係や地域、関係機関とも連携して課題解決にあたりるとともに、家計管理に関する指導や相談支援、就職活動応援金付職場体験事業(プチバイト)の活用、入居保証支援や医療受給支援等の制度を活用しながら、生活困窮状態の改善に向けた継続支援に取り組み、本人が望む自立した生活の実現に向けて支援する必要があります。

### 権利擁護事業

住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を最後まで送られることは誰もの願いです。茅野市社協では、権利擁護事業として、日常生活自立支援事業、法人後見事業、そして、平成29年4月から、茅野市・富士見町・原村の3市町村の委託を受け、「茅野市・富士見町・原村成年後見支援センター」を開設し運営しています。

日常生活自立支援事業の利用者は、年々増加しており、成年後見制度への移行が必要になっている利用者も多くなっています。日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行が必要な契約締結者について、生活支援サービス等を活用しながら切れ目のない支援を目指すとともに、職員の必要なスキルを見極め、より丁寧な相談・支援に努めることで、地域における権利擁護支援体制の構築を目指す必要があります。

### 相談・生活支援事業

茅野市社協では、市内で取り組まれる様々なボランティア活動の中から、住民の暮らしに欠かすことができないと考えられる活動を、配食サービスや移送サービス、シャララ・ほっとサービス、また、閉じこもり・介護予防のためのデイサービスなど、福祉サービスとして発展させてきました。

既存の福祉サービスとボランティア活動では対応できないニーズに応えるために、今後も新しいサービスの開発・実施に取り組まなければなりません。具体的には、住民参加型の有償サービスであるシャララほっとサービスは、より複雑多様化するニーズに十分に答えられない現状があることから、新たな体制整備を図る必要があります。

## 地域福祉活動推進係の主要な取り組み

コミュニティソーシャルワークの手法を基本に「誰もが住み慣れた地域で安心して共に生きる  
支え合いの地域づくり」を目指し、積極的に地域福祉活動の展開を図りました。特に、地域福祉  
への理解と参加を働きかけるとともに、個別の相談・支援、住民主体の小地域福祉活動の推進、  
ボランティア活動の推進、生活支援体制整備事業及び市民活動センター事業に取り組みました。

令和元年度は、以下の7項目を重点に取り組みました。

### (1) 個別訪問活動と相談・支援

高齢者を中心とした訪問活動を通じて、支援を必要とする人の存在とその課題の早期発見、  
また、課題を抱えた人が必要なサービスを利用しやすくするための援助など課題解決に向け  
て取り組みました。

### (2) 個別の相談・支援に関わる連携

一人ひとりの生活課題の解決のために、「茅野市社協コミュニティソーシャルワーカー(CS  
W)業務の手引き(暫定版)」の策定を進めるとともに、保健福祉サービスセンターとの連携  
や、課題を抱えた人の友人や近隣住民とのつながりを活かし、住み慣れた地域でその人らし  
い生活を送れるよう支援に努めました。また、シャララほっとサービス、配食サービス、総  
合相談事業、貸付事業及び日常生活自立支援事業などの制度を活用し、コミュニティソーシ  
アルワーカーと各事業の担当職員とが連携して支援を行ってきました。

### (3) 地域福祉活動への支援

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協働し、各地区では、地区社協や  
福祉推進委員活動の支援、第2次地域福祉行動計画の推進・支援に取り組みました。また、  
令和2年度を初年度とする第3次地域福祉行動計画の策定においては、策定に関わる役員や  
団体等と協働し、第2次計画の振返りを行い新たな取組などを協議してきました。

### (4) ボランティア活動への支援

地区や各区・自治会ボランティアの会、市内のボランティア活動団体等の活性化のために、茅  
野市ボランティア交流会、地区ボランティアの会連絡会を開催しました。併せて、各区で取り  
組んでいるサロンや、住民主体の様々な活動の場へ積極的に出向き、活動状況の把握や支援  
を行いました。

### (5) 生活支援体制整備事業の実施

本事業の理解と協力を得るため、生活支援コーディネーターが各地区の実情に合わせて地区  
社協、福祉推進委員連絡会、区長会、民生児童委員定例会等へ出向き、本事業の趣旨や取組  
についての説明をしてきました。

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協力しながら、住民懇談会の開催  
や、地区協議体の設置や開催に向けて、地域への呼びかけにも取り組んできました。

### (6) “ふくし”の心を育む福祉教育(共育)・学習の推進

市内の小学生・中学生・高校生が福祉について学ぶ場として、出前福祉教室を開催しました。  
具体的には地域で生活する障害のある方に協力していただき、高齢者や障害のある方との交  
流を通して、「誰もが共に生きる」という福祉の心を育む機会を提供しました。

第3次福祉21ビーンズプランの推進母体である福祉21茅野の福祉教育WGの提案等を茅野市  
社協が進める福祉教育の取り組みに生かすための検討を行いました。令和2年度も検討を継  
続し、福祉教育の充実を図ります。

### (7) 市民活動センター事業の実施

ゆいわーく茅野において、福祉分野を含んだボランティア活動や市民活動が広がるよう総合  
的な支援に取り組むとともに、『ゆいわーく茅野』管理運営計画に基づく事業を実施しました。

## 主な課題と今後の方向性

### 小地域福祉活動推進・支援事業

コミュニティソーシャルワーカーは個別支援や地域支援の取組において、近隣住民やボランティアなどの参画を働きかけ様々な支え合いの活動を支援しています。また、生活支援コーディネーターが中心となり、地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンター等と連携しながら、生活支援体制整備事業の周知とともに各地域での地域懇談会に取り組んでいます。

今後も、各地域で地域懇談会の開催を働きかけ、支え合いの必要性や地域課題の共有を図るとともに、地域課題の解決に向け、多様なネットワークづくりを地域住民の皆さんとともに進め、地域での福祉活動の理解と新たな活動者が増えるよう働きかけが必要です。

こうした活動を通して、制度、非制度に関わらず新たなサービスや支え合いの仕組みづくり、第3次地域福祉行動計画の推進に主体的に関わり、地域の福祉課題の解決に向けて、地域住民のみなさんと共に取り組んでいくことが必要です。

### ボランティア・市民活動推進事業

地域福祉分野のボランティア・市民活動のさらなる振興のため、全市的かつ多分野にわたるボランティア活動者やグループ、NPOなどのネットワークの充実や、茅野市全域（2層）の活動（者）と地区・区・自治会（4層・5層）の活動（者）が効果的につながるような働きかけを行っていく必要があります。「ゆいわーく茅野」を媒体とし、あらゆる主体が、そして、様々な活動が自立し、展開されるように、まちづくりに向けた仕組みづくりを進める必要があります。

また、「お互い様」の心を醸成する福祉教育・学習の推進を図っている中で、支え合いの基礎となる福祉意識を醸成するため、これまで小中学校を中心に取り組んできた福祉教室の取組を拡充し、地域などで生涯にわたって福祉に関わる学習・体験ができる場の創出に努めます。さらに、茅野市社協が行う事業全てが福祉教育につながっていることを意識することも必要と考えます。

## 在宅福祉系の主要な取り組み

在宅福祉系は、介護保険法及び障害者総合支援法関係の事業のほか、行政からの受託事業を実施しました。

各法令を遵守し、高齢者や障害のある方等が安心して地域で生活が続けられるよう、各係や各保健福祉サービスセンターと連携を図り利用者へのより良いサービス提供に努めました。

各事業所の課題を把握する中で、令和2年度以降の課題解決につなげていきます。

令和元年度は下記の5項目を重点に取り組みました。

- (1) サービスの向上を図るため、内部研修や外部研修を通して、関連する諸制度の理解、介護技術や認知症等に関する専門知識の習得に努め、職員の資質向上を図るとともに、尊厳のある接遇を徹底し、利用者の立場にたった福祉サービスの提供に努めました。(p33、34)参照
- (2) 介護保険法、障害者総合支援法等の法令遵守に努めました。

県実地指導監査

- ・11月14日 実施(介護保険法：関係)対象事業所：訪問介護事業所
- ・12月16日 実施(介護保険法：関係)対象事業所：居宅介護支援事業所

以上の実地指導監査が実施され、特筆すべき指摘事項はありませんでした。

- (3) 社会福祉協議会の使命を意識し、職員一人ひとりが茅野市社協の一員としての自覚を持ち、係を超えての情報共有や連携強化に努め、専門的知識や技術を生かした質の高いサービスを提供するとともに各保健福祉サービスセンター等との連携も綿密にして、地域福祉向上に貢献しました。
  - ・介護支援専門員連絡会、サービス提供者事業所連絡会及び各保健福祉サービスセンター開催の打合せ会議にも積極的に参加し連携を密にしました。
  - ・地域福祉活動推進係との連携を密にして業務を推進しました。
- (4) 介護人材の定着及び働きやすい職場環境づくりを進めるために、業務改善に取り組み、職場環境の改善を図りました。
  - ・訪問介護事業所・西部デイサービスセンターでは、課題検討・連絡・業務改善のために各事業所職員会議を毎月実施しました。
- (5) 社会福祉士・介護福祉士等の現場実習生の受け入れを行い、福祉人材育成のために協力しました。令和元年度は、下記の学生を受け入れ研修をしていただきました。  
[研修先：訪問介護事業所・西部デイサービスセンター]
  - ・高校生職場体験 茅野高校 (10/17~18)
  - ・県社協事業「福祉の職場体験」より清陵高等学校附属中学校 学生1名(11/7~8)

主な課題と今後の方向性

居宅介護等事業

茅野市社協は、平成12年度(2000年度)の介護保険制度のスタート以来、誰もが地域で安心して生活が続けられるよう、訪問介護や通所介護事業などの実施による、より良い介護サービスの提供を行っています。特に、茅野市社協自ら必要な研修機会を設けて、関連する諸制度の理解、介護技術や認知症等に関する専門知識の習得を行うとともに、介護人材の確保・定着に向け、働きやすい職場環境づくりを進めるための業務改善に取り組んできました。

今後も、職員の資質向上、福祉人材の確保・育成、サービス提供事業者や保健福祉サービスセンターとの連携を通して、利用者の立場にたった福祉サービスの提供に努めなければなりません。そのためにも、他の介護保険事業所同様「人員不足」「業務多忙」は否定できませんが、いかに本事業を実施していくのか、十分な検討が必要です。



### 障害者福祉サービス事業

あすなろセンターは、平成24年（2012年）から、「就労継続支援B型」として事業を移行・運営し、障害者の方々に就労の機会を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行うことで、障害者の支援を総合的に提供する施設として活動しています。

今日の社会・経済情勢を鑑みると、このあすなろセンターが就労継続支援施設として安定的に継続した作業量と収入額を確保することは難しい状況にあります。また、利用者とその家族が高齢化しており、他のサービスを併用するなど、1日当たりの通所者数が減少してきています。

引き続き、施設等の体制を維持するとともに、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が社会人として自立し、社会参加できるよう継続的に取り組むとともに、当事者の方々の生活のしづらさを軽減し、その人らしく生活できるよう支援していく必要があります。

## 【事業の概要】

### 法人・地域福祉推進事業

#### 1 法人運営事業

##### (1) 管理運営事業

令和元年度決算額 63,238,515円

##### 経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	主な内容
4月17日(水)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について</li> </ul>
4月24日(水)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について</li> </ul>
5月28日(火)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会就業規則の一部改正について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員会の開催について</li> <li>茅野市社会福祉協議会役員候補者の選定について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会決算について</li> <li>会長の職務執行について</li> </ul>
6月11日(火)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会就業規則の一部改正について</li> <li>茅野市社会福祉協議会評議員会の開催について</li> <li>茅野市社会福祉協議会役員候補者の選定について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会決算について</li> <li>社会福祉充実残額の報告</li> <li>監査報告</li> <li>会長の職務執行について</li> </ul>
6月3日(月)	評議員選任・解任委員会	評議員の選任について
6月25日(火)	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会役員の選任について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会事業報告について</li> <li>平成30年度茅野市社会福祉協議会決算について</li> <li>社会福祉充実残額の報告</li> <li>監査報告</li> </ul>
7月3日(水)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長、副会長及び常務理事の選定について</li> </ul>
9月27日(金)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部デイサービスセンターの事業について</li> </ul>
10月21日(月)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市社会福祉協議会文書取扱規程の制定について</li> <li>茅野市社会福祉協議会個人情報保護規程の制定について</li> <li>茅野市社会福祉協議会コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について</li> <li>茅野市社会福祉協議会情報公開規程の制定について</li> <li>茅野市社会福祉協議会情報公開・個人情報保護審査会設置規程</li> </ul>

開催日	会議名	主な内容
		<p>の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会苦情解決に関する規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会公益通報者保護に関する規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会法令遵守規程の制定について</li> <li>・第2次茅野市社会福祉協議会発展強化計画について</li> <li>・業務継続計画について</li> <li>・災害時職員行動マニュアルについて</li> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて</li> </ul>
10月30日(水)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会文書取扱規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会個人情報保護規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会情報公開規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会情報公開・個人情報保護審査会設置規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会苦情解決に関する規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会公益通報者保護に関する規程の制定について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会法令遵守規程の制定について</li> <li>・第2次茅野市社会福祉協議会発展強化計画について</li> <li>・業務継続計画について</li> <li>・災害時職員行動マニュアルについて</li> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて</li> </ul>
11月25日(月)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について</li> <li>・令和元年度茅野市社会福祉協議会中間決算について</li> <li>・第2次発展強化計画意見交換会について</li> </ul>
12月5日(木)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について</li> <li>・令和元年度茅野市社会福祉協議会中間決算について</li> </ul>
1月30日(木)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次茅野市社会福祉協議会発展強化計画の策定について</li> </ul>
3月4日(水)	経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会正規職員就業規則の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会正規職員給与規程等の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会評議員会の開催について</li> <li>・令和元年度茅野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会資金収支予算について</li> <li>・会長の職務執行について</li> </ul>

開催日	会議名	主な内容
3月16日(月)	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会正規職員就業規則の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会職員給与規程等の一部改正について</li> <li>・茅野市社会福祉協議会評議員会決議の省略について</li> <li>・令和元年度茅野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会資金収支予算について</li> <li>・会長の職務執行について</li> </ul>
3月26日(木)	評議員会 書面同意 により決議 省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度茅野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会事業計画について</li> <li>・令和2年度茅野市社会福祉協議会資金収支予算について</li> </ul>

#### 定例監査の実施

5月30日(木)	平成30年度の事業報告及び決算について
----------	---------------------

#### 役員・評議員研修等

開催日	内容
8月27日(火)	社会福祉法人トップセミナー(塩尻市) <参加者:理事・職員 計5名> 「地域共生社会の実現に向けた市町村社会福祉協議会の使命」 実践報告
9月20日(金)	県社会福祉大会(駒ヶ根市) <参加者:理事・監事・評議員・職員 計13名> 「ごちゃまぜで挑む 共生の地域づくり」 講師:雄谷 良成氏
11月22日(金)	諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会(岡谷市) <参加者:理事・職員 計7名> 「一人暮らしの増加と今後~どのような地域・社会を構築していくべきか~」 講師:日本福祉大学教授・みずほ情報総研 藤森 克彦氏

諸規程の整備(名称冒頭の「社会福祉法人茅野市社会福祉協議会」は省略)

主に令和2年4月1日施行として、規程、要綱又は要領等の制定、改正又は廃止を行いました。新規制定、全面改正及び廃止した規程、要綱又は要領等は以下の通りです。

(新規制定)

文書取扱規程

個人情報保護規程

情報公開規程

情報公開・個人情報保護審査会設置規程

苦情解決に関する規程

公益通報者保護に関する規程

法令遵守規程

個人情報保護規程施行細則

情報公開規程施行細則

自家用自動車の業務使用取扱要綱

福祉関係団体活動助成金交付要綱

希望の旅事業実施要領

SNS運用要綱

家庭介護者交流事業実施要綱取扱要領

(全面改正)

家庭介護者交流事業実施要綱

ボランティア・市民活動助成金交付要綱

シャララ・ほっとサービス事業に関する自家用自動車使用取扱細則

配食サービス事業実施要領

心配ごと相談所運営要綱

法律相談事業実施要綱

(廃止)

シャララ・ほっとサービス事業運営委員会設置要綱

シャララ・ほっとサービス事業に関する自家用自動車使用規程

心配ごと相談所設置規程

司法書士の法律相談事業実施要綱

「おたっしゃ弁当」事業実施要綱

ボランティア活動助成金交付要綱

在宅介護者リフレッシュ事業実施要綱

職員採用

業務が円滑に執行できるよう、必要に応じた職員の採用に努めました。

職員研修の参加

職員の資質向上のため、長野県社会福祉協議会等の外部団体主催の各種研修へ参加しました。

(p45)参照

災害時に備えた体制整備

災害時に職員が円滑に行動できるよう、茅野市社協業務継続計画(BCP)及び茅野市社協事務局班災害時職員行動マニュアルを策定しました。また、災害時に災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営できるよう、茅野市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定しました。

災害ボランティア活動支援対応

長野県社会福祉協議会より派遣依頼を受け、9月に発生した台風15号災害で被害を受けた千葉県館山市に職員1名を派遣しました(長野県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)登録職員)。

10月4日(金)～ 10月6日(日)	派遣先：千葉県館山市災害ボランティアセンター
-----------------------	------------------------

・長野県社会福祉協議会より派遣依頼を受け、10月に発生した台風19号災害で被害を受けた長野県長野市及び佐久市に職員延べ25名を派遣しました。

期間	職員延べ人数	派遣先
10月22日(火)～ 10月24日(木)	1名	佐久市災害ボランティアセンター
10月24日(木)～ 12月20日(金)	24名	長野市北部災害ボランティアセンター

災害ボランティアバス派遣

台風第19号による被災地に対し、被災住民及び被災地域の一日も早い復旧・復興に寄与するとともに、災害の経験から得た教訓及び知識を茅野市で活かしていく機会として市民等から災害ボランティアを募集し、バス派遣を実施しました。

活動日	人数	活動先	活動内容
11月27日(水)	17名	長野市津野地区	側溝の泥だし、道路に堆積した土砂の撤去、お墓の清掃、庭の泥かきと洗浄
12月12日(木)	16名	長野市津野地区	漂流物の撤去、植木回りの泥の撤去、お墓の清掃

#### 社協会費の収納業務

茅野市社協は、主な自主財源の一つとなっている会費を、当法人の趣旨にご理解・ご賛同をいただくなかで納めていただいております。納入いただく会費の金額によって普通会员、賛助会員、特別会員となっています。令和元年度の協力世帯は8,306世帯で、全世帯の35.5%でした。普通・賛助・特別すべてで協力世帯が減少しました。広報紙やホームページでのより一層の啓発を行い、あらゆる機会を通じて社協活動に対する理解とともに社協会費の趣旨を伝え、納入の協力をお願いしていく必要があります。

#### 令和元年度 会費会員別集計表

地区名	普通会员 (1~1,999円)		賛助会員 (2,000~2,999円)		特別会員 (3,000円以上)		合計	
	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)
	ちの	1,398	1,370,132	95	190,000	49	179,000	1,542
宮川	1,401	1,369,680	65	130,000	41	144,000	1,507	1,643,680
米沢	435	426,800	20	40,000	14	44,000	469	510,800
豊平	924	918,800	11	22,000	15	63,000	950	1,003,800
玉川	1,627	1,574,304	46	92,000	22	79,000	1,695	1,745,304
泉野	337	328,464	11	22,000	6	20,000	354	370,464
金沢	470	464,300	29	58,000	8	31,000	507	553,300
湖東	450	443,780	16	32,000	10	32,000	476	507,780
北山	507	503,000	12	24,000	10	30,000	529	557,000
中大塩	245	238,300	19	38,000	13	46,000	277	322,300
地区外	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,794	7,637,560	324	648,000	188	668,000	8,306	8,953,560
		(R1.7.1	世帯数	23,370 件	収納率	35.5 %)		

#### (平成30年度 会費実績)

合計	普通会员		賛助会員		特別会員		合計	
	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
合計	7,915	7,759,813	334	668,000	195	719,000	8,444	9,146,813
		(H30.7.1	世帯数	23,133 件	収納率	36.5 %)		

#### (2) 広報・啓発事業

1,033,000円

##### ホームページの更新

誰もが見やすく、タイムリーな情報提供を行うため、ホームページの随時更新を行いました。より多くの方にタイムリーな情報を提供できるよう、SNSの活用を検討し、Facebookの利用を開始しました。今後もTwitter、LINE、Instagram等の他のSNSの活用を検討していきます。

##### 広報紙の発行

社協活動や地域活動情報の提供を行うため社協広報紙「やらざあ」の発行を行いました。通常版(4ページ仕様)4回、特大号版(8ページ仕様)2回の計6回発行し、市民の方から多くのご意見をいただきました。

- ・発行：年6回
- ・全戸配布：19,100部  
第56回茅野市社会福祉大会の開催  
10月14日(月)茅野市ひと・まちプラザにて開催しました。当日は約180名の方に参加していただきました。
- ・テーマ：『であい ふれあい ささえあい』 ~笑顔あふれる福祉大会~
- ・社会福祉貢献者表彰  
本会の役員として長年ご尽力いただき退任された方  
2名  
○地区社会福祉協議会の会長として長年ご尽力いただき退任された方  
1名  
本会の社会福祉事業のため、高額の寄付をされた方又は団体  
2名 3団体  
本会の社会福祉事業で、功績が特に顕著である方  
6名  
本会の賛助会員又は特別会員として通算10年以上継続して会費を納められた方又は団体  
15名 1団体
- ・講演会  
演題 「ほろ酔い座談会から・・・地域のつながりへ」  
講師 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 先生
- ・シンポジウム  
テーマ 「みんなでつくろう たすけ愛 茅野」  
シンポジスト  
諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 先生  
玉川緑区 大月 年廣 氏  
北山芹ヶ沢区 北澤 孝幸 氏  
茅野市社協 地域福祉活動推進係 生活支援コーディネーター 伊藤 千佳子
- ・おたのしみ抽選会  
協力：ひまわり作業所、この街学園、ふくろう玉川、八ヶ岳福祉農園、精明学園
- ・コーヒーの振る舞い  
シャララCafé男の元気塾

## 2 小地域福祉活動推進・支援事業

- (1) 小地域福祉活動推進事業 49,622,777円
- 地区社会福祉協議会活動の支援  
各地区の住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援しました。
- 地区社協の主な活動
- ・地区地域福祉行動計画の推進及び策定  
(第2次地域福祉行動計画の推進 第3次地域福祉行動計画の策定)
  - ・地区ボランティア活動費の助成
  - ・福祉推進委員活動費の助成
  - ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催
  - ・福祉まつり等の開催
  - ・戦没者等追悼式の開催

- ・情報紙の発行
- ・高齢者等の昼食会や配食
- ・高齢者と子どもの交流活動
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・社協会費収納協力 など
- ・生活支援体制整備事業への参画  
福祉推進委員活動の支援

支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

福祉推進委員研修会（令和2年2月29日（土）開催予定。茅野市との共催）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

地区単位で福祉推進委員連絡会を組織化

- ・情報交換、情報紙発行、研修会を開催

福祉推進委員を中心とした各区・自治会の取り組み

- ・各区単位で福祉推進委員会の組織化
- ・高齢者の食事会やお楽しみ会、配食
- ・区内の花壇の整備やプランターへの花植え、畑作り
- ・お花見会、カレー会
- ・福祉推進委員だよりの発行
- ・福祉や生活の課題を話し合う懇談会
- ・福祉についての講演会や研修会、学習会
- ・困りごとなどについて個別の訪問聴き取り調査
- ・ボランティアや高齢者クラブなどの関係団体による定期的な情報交換
- ・災害時要援護者支えあいマップ（おたがいさまっぷ）づくり
- ・自主防災組織等と協働しての避難訓練
- ・買い物やゴミ出しなどの個別支援活動
- ・区内の見回り、除雪
- ・高齢者宅の訪問、見守り、声かけ など

住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーがひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問し、必要に応じて様々な支援活動に取り組みました。

個別訪問及び小地域福祉活動の状況（訪問延べ件数及び4層、5層の会議参加件数）

（p43、44）参照

「こんにちは！社協です！」お便りの発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消、安否確認、情報提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しています。

この取り組みは、市内郵便局と連携することで、地域の見守りや安心なまちづくりの充実に目的としています。

お便りは郵便局員に対象者へ手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気づいたことや心配なことがあった場合は、担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただいています。

《令和元年度》

発送月	4月	7月	10月	1月	発送総数
発送数	453	446	446	432	1,777



## 茅野市社協「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、ボランティア活動や地域福祉活動の情報を発信しました。

### 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターは、地域で高齢者が自立した日常生活を送るとともに、生きがいを持って暮らすために必要な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を担います。茅野市社協は、各地区コミュニティセンターと各保健福祉サービスセンターと協力しながら、サービスの開発・創出や支え合いの地域づくりを目指し、本事業の推進に取り組みます。

令和元年度は、本事業の周知と各地域における様々な活動の把握や、地域の実情に合わせて、地域の目指す姿や課題の共有を目的に地域懇談会の開催、また、地区協議体の設置と開催にむけた支援に取り組みました。

具体的な取組は、以下のとおりです。

- ・事業の主担当である市高齢者・保険課、地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンター、生活支援コーディネーターによる4者協議を各地区で開催し、4者の連携強化と本事業の振り返りと具体的な進め方を検討しました。10地区で年2回（春と秋）開催。
- ・地区協議体の設置及び開催に向けた支援に取り組みました。  
地区協議体の設置 9地区 地区協議体の開催 3地区
- ・各地区で、区長会、地区社協や福祉推進委員連絡会、民生児童委員定例会等において、事業の説明を行い理解と協力依頼に努めました。
- ・区・自治会で可能なところから地域懇談会を開催し、地域の現状や支え合いについて地域のみなさんと話し合いを行いました。玉川地区は昨年につき、また、北山地区でも諏訪中央病院主催の「ほろ酔い座談会」と組み合わせて開催しました。健康づくりや防災などをテーマに開催し、地域の皆さんが共に支え合う地域づくりを考えるきっかけとなりました（43か所、67回）
- ・共に支え合う地域づくりへの理解と活動のを目的に、市内の地域の居場所や集いの場などを紹介した情報紙を作成し全戸配布しました。
- ・茅野市社協情報紙やらざあへ、地域の様々な福祉活動やボランティア活動の紹介を掲載し広報に取り組みました。
- ・生活支援コーディネーターが居場所づくりなどの取り組みをしている文京区社協を視察し、生活支援コーディネーターのスキルアップと今後の取り組みの参考にしました。  
視察先 文京区社会福祉協議会 視察日 令和元年8月8日（木）  
視察内容 文京区社協が進める生活支援コーディネーターの取組及び地域福祉コーディネーターの取組について
- ・諏訪広域圏内で生活支援コーディネーターの活動状況を共有し、これからの活動について協議するため、諏訪6市町村の生活支援コーディネーター連絡会を開催しました。

## （2）福祉団体助成事業

3,725,366円

### 福祉団体助成

社会福祉団体（6団体）へ助成金を交付しました。

- ・茅野市社会を明るくする運動実行委員会 80,000円
- ・茅野市手をつなぐ育成会 50,000円
- ・茅野市赤十字奉仕団 30,000円
- ・茅野市保護司会 90,000円
- ・茅野市民生児童委員協議会 200,000円
- ・茅野市少年警察ボランティア協会 30,000円

## 社協会費交付

社協会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて地区社協へ交付金を交付しました。

- ・ 交付額 3,245,366円

### 3 相談・生活支援事業

(1) 総合相談事業 301,000円

#### 心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとに対し、経験豊かな民生児童委員経験者が相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。令和元年度は、相談日以外に電話や来所による相談者の対応を職員が務める相談件数が22件と多く寄せられました。

- ・ 開設日時：毎週金曜日 午前9時～正午
- ・ 会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・ 相 談 員：民生児童委員経験者 計2名（相談日1名体制で対応）
- ・ 相談件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開設日数	49日	50日	47日	50日	50日
相談件数	29件	30件	18件	19件	28件

- ・ 対応状況：助言:16件、他機関を紹介:15件

#### 結婚相談

6名の相談員が結婚の相談に応じています。相談所が「ひと・まちプラザ」に移ってから、相談者本人が来所する割合が減少し、成婚数も0件となってしまったことから、相談者同士の出会いや紹介できる回数を増やす工夫を相談員連絡会で検討し、実施したことで、相談者からは好意的に受け止めていただけました。

- ・ 開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時  
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・ 開催回数：47回（月4回）
- ・ 会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・ 相 談 員：委嘱した結婚相談員（相談日には2～3名体制で対応）
- ・ 登録者数：令和2年3月31日現在 男性:64名（17名）、女性:29名（14名）  
（ ）内は当年度登録者数
- ・ 成 婚 数：0件 登録者同士の成婚数：無し（-2件）（ ）内は前年度比
- ・ 相談件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
男性	81件	71件	80件	150件	181件
女性	53件	50件	53件	90件	95件
計	134件	121件	133件	240件	276件
本人来所率	99.3%	84.8%	72.2%	75.4%	96.4%

#### 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

また、必要に応じて弁護士など専門機関への紹介を行っています。相談の内訳としては、不

動産の相続についての相談が多く寄せられました。令和元年度は相談の予約が早く埋まり、茅野市の法律相談や長野県司法書士会の電話相談を紹介するなどの対応も行いました。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相 談 員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）
- ・相談件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
開設日数	12日	12日	12日	12日	12日
相談件数	25件	21件	19件	23件	30件

- ・対応状況：解決:20件、他機関を紹介:3件、その他:3件

#### 心の健康相談室

家族のことや職場などでの人間関係により精神的に不安定な状態にある方に対し、問題解決に向けて適切なカウンセリングを行い、心の健康相談に応じています。

心配ごと相談などからの紹介を受けて、随時開設をしています。相談援助内容は完全予約制の面接相談と、相談者によっては電話相談にも応じています。令和元年度は相談(予約)はありませんでした。

- ・開設日時：随時（祝祭日及び年末年始を除く）
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相 談 員：精神保健福祉士 1名
- ・相談件数

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談件数	0件	0件	0件	0件	2件
相談来訪者数 (延べ)	0名	0名	0名	0名	2名

- ・対応状況：解決0件、他機関を紹介0件、その他0件

## (2) シャララ・ほっとサービス事業

952,285円

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的な位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

生活支援サービスの在り方については、市内の買い物支援ニーズの調査を地域福祉活動推進係のコミュニティソーシャルワーカーに担っていただき、実態把握に努めましたが、対象地域の選定やサービスの試行には至りませんでした。

- ・利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状 況	足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、入院中・寝たきり、退院後間もない方 など	心の病（うつ病、統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方 など	産後で親族支援が受けられない母親 など
援 助 内 容	掃除、入院中の洗濯、食事作り、買い物、洗濯、話し相手、院内介助、可燃ごみ出し、散歩介助 など	掃除、院内介助、入院中の洗濯、リサイクルごみ分別出し、買い物、話し相手 など	出産直後の買い物、掃除、調理 など

利用世帯数	30 世帯	7 世帯	2 世帯
利用回数	454 回	99 回	11 回
延べ利用時間	529.5 時間	146.5 時間	13.5 時間

登録状況 令和2年3月31日現在

- ・登録利用会員数：33名（内 新規15名）
- ・登録協力会員数：36名（内 新規0名）

(3) ひとり暮らし安心コール事業

204,000円

ひとり暮らしの高齢者と定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、安否確認や健康状態、生活状況を確認するとともに、孤独感の緩和を目的に実施しました。

- ・事業内容：最大週2回本人の希望する曜日と時間に協力者より電話をかける。
- ・協力員：11名（令和2年3月31日現在）
- ・対象人数：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者 延べ利用人数：186名
- ・通話実績（不在回数除く）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	99	91	87	99	78	88	91	88	86	79	73	86	1,045

(4) 一般介護予防事業（塩つぼの湯デイサービス）

19,137,036円

要介護状態等になるおそれの高い高齢者（2次予防事業対象者）を、通所サービスを利用することによって要介護状態になるのを予防することを目的に、高齢者福祉センター塩壺の湯において、送迎・食事・相談・介護予防メニュー及び交流活動等を実施しました。また、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しました。

\*実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）

\*利用時間：午前10時～午後4時

\*実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	20	19	21	22	21	20	22	21	20	20	20	0	226
登録者数	57	56	56	54	52	54	54	55	53	53	54	0	598
H30年度	55	51	53	55	52	52	50	51	52	49	55	56	631

日々、送迎、食事提供のサービスに加え、身体機能維持向上のための体操や口腔体操等を実施。また利用者が個別に選択して行えるプログラムとして調理、手工芸、脳トレ、筋トレ等を導入。職員や利用者同士が一緒に行う事で他者との交流を図ることができた。手工芸では自宅にある資源物等を使うことで低予算で作ることができ、利用者が自宅に帰って新たに買い物に行かなくても同じものを工夫して作ってくることが増え、生活意欲も高められている。

令和2年3月1日～はコロナウィルス感染防止対策で事業中止となりました。

○毎日行う集団プログラムについては以下参照

4月	・トイレトーパー芯を使ったこいのぼり作り ・イゴボール ・いなりずし作り	5月	・DAM（通信カラオケ機器を用いた運動） ・料理レク（カレー会） ・スカーフを使った藤の花のつるし飾り作り
----	--	----	---

6月	・藤の花作り(5月からの継続) ・テーブルホッケー	7月	・ポッチャ ・七夕飾り、張子の魚作り ・利用者持参の野菜による料理(7~12月)
8月	・夏祭り(焼きそば等の料理と輪投げ等ゲーム) ・ボーリング	9月	・防災についての勉強会、ビニール袋を使った炊飯体験 ・イゴボール ・外出レク(ケーキ店にてお茶会)
10月	・ポッチャ ・プルーンジャムパイ作り ・紅葉狩り(蓼科湖)	11月	・透かし折り紙でつるし飾り ・テーブルホッケー
12月	・イゴボール・干支の絵馬作り ・買い物レク(ザ・ビッグ、ダイソー) ・料理レク(餃子パーティー)	1月	・すごろくで体操、脳トレ ・小さなやっこ凧作り・DAM ・紙皿で鬼の面作り
2月	・ガーゼマスク作り ・料理レク(ひな祭り・ちらし寿司他)	3月	

毎月3~4グループのボランティアを招き、地域住民との交流も図っている。

身体・認知機能の評価、個別の面談による健康状態、ADL評価を6ヶ月に1回行っている。

(5) 外出支援事業(移送サービス)

5,327,283円

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

令和元年度は、運行協力員9名とタクシー業者2社により実施しました。

また、利用継続が長きにわたる利用者の身体状況の変化に即して、再調査を行い、送迎時の訪問介護員の導入や車いすの利用等を促し、安心・安全にサービスが実施できるよう務めました。

・延利用人数 2,632名 \*新規登録 6名

・利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	238	235	239	256	202	181	227	224	229	217	199	185	2,632

\*前年度と比較し、総件数で557件の減

(6) 配食サービス事業(おたっしゃ弁当)

14,963,294円

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

令和元年度は、平成30年度に実施したアンケート結果を踏まえて、補助対象を昼食と夕食のいずれかが選択できるように拡大しました。

また、食材費の高騰や消費税増税を踏まえて、弁当一食あたりの価格と補助対象額を見直し、サービスの充実に努めました。

・弁当代：570円(内個人負担350円)、おかずのみ：520円(内個人負担300円)

・委託業者：信州配食サービス

・実施状況

利用者(対象者)数	人数 (人)		
	昼	夕	合計
65歳以上の独り暮らしの方	126	40	166
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	85	31	116
ひとり暮らしの障害者	13	6	19

寝たきりの人がいる2人世帯	0	0	0
その他 昼間は高齢者のみとなり、調理が困難な方	49	21	70
昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	16	5	21
社協会長が必要と認めた方	13	3	16
合 計	302	106	408

・利用実績 \*前年度と比較し、7,383食の増

延べ利用者数	新規利用者数	延べ配食数	おかずのみ
2,721 人	140 人	56,264 食	33,840 食

・昼の合計：41,687食、夜の合計：14,577食

対 象	利用時間	食 数	合計
障害者	昼	3,675 食	5,415 食
	夜	1,740 食	
高齢者	昼	38,012 食	50,849 食
	夜	12,837 食	

## 4 権利擁護事業

### (1) 日常生活自立支援事業

4,531,174円

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は茅野市と原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員（専門員）のほか、生活支援員を茅野市2名、原村1名の計3名を配置しています。生活支援員は、利用者の訪問を中心に預貯金の払い戻しや福祉サービスの利用料等の支払い、金銭の受け渡し等の実務を行い、専門員と連携しながら利用者の抱える課題の解決を図ると共に、事業の普及、啓発に努めています。令和元年度は、利用者の判断能力の低下に伴い、契約締結者の内5名を成年後見制度へ移行しました。

また、富士見町在住の契約締結者が増加していたことから、事業の単独実施を富士見町社協に働きかけ、令和元年6月に事務移管を行いました。

- ・相談件数：39,515件
- ・契約内容：新規契約締結件数：2件
- ・解約件数：6件
- ・富士見町社協への事務移管に伴う解約：12件
- ・実契約件数：36件（令和2年3月31日現在）《内訳：茅野市：33件、原村：3件》

### (2) 法人後見事業

838,320円

茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務（財産管理や身上監護）を行い、高齢者や障害者の権利擁護を図ることを目的に支援活動に取り組みました。

平成30年度から継続して、3件の法人後見(内1件は保佐類型)を受任し、後見業務の実践にあたりました。法人後見運営委員会では、5名の方の受任審査や支援方針の検討を行いました。令和元年度の新規受任件数は2件でした。

- ・法人後見運営委員会：3回（4月、6月、10月）
- 委員：弁護士、司法書士、内科医、障害者相談支援専門員、市地域福祉課長（計5名）
- ・法人後見件数：5件（新規受任件数は2件）
- ・後見活動内容：不動産売買手続き、入院時の日用雑貨購入に伴う金銭管理、施設入所契約親族の葬儀対応 ほか

(3) 茅野市・富士見町・原村成年後見支援センター 7,410,474円

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者（認知症高齢者を含む）が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及、啓発、相談、その他、円滑な制度利用促進のための支援等を実施し、障害者の権利擁護を図ることを目的に、茅野市・富士見町・原村の3市町村から受託しています。新規相談件数は昨年度から減少しましたが、申立支援に関する継続相談件数が増加し、富士見町と原村からの相談件数が増えてきています。

- ・相談件数 新規相談件数：82件 継続相談件数：467件 合計：549件
- ・審判申立支援件数：12件（内、審判確定件数：8件、継続相談：4）
- ・後見人候補者調整件数：8件
- ・啓発活動（学習会）：4回（内、センター主催の学習会：1回）
- ・事例勉強会：3回（6月、10月、1月）
- ・後見団体連絡会の開催：1回（7月） ・3市町村関係者連絡会：1回（2月）
- ・諏訪圏域内成年後見支援センター打ち合わせ：3回（1月、2月、3月）
- ・諏訪圏域内市町村＋後見支援センター連絡会：2回（1月、2月）

## 5 生活困窮者支援事業

(1) 生活福祉資金貸付事業 642,000円

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金の貸付を行い、世帯の自立を支援しました。

茅野市福祉事務所に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携し、償還指導および家計相談支援を毎月実施することで、借受者の家計改善に努めました。

長期借受者に対しては、長野県社協と連携しながら償還指導にあたり、4名が償還完了となりました。

また、生活福祉資金貸付事業の担当者会議や研修会への参加、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

《貸付実績》

資金名	令和元年度貸付		平成30年度貸付		貸付残額	
	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）	件数	金額（利子含む）
総合支援資金	0	0円	0	0円	4	1,140,340円
離職者支援資金	0	0円	0	0円	0	0円
生活福祉資金	7	2,060,000円	2	337,917円	28	7,496,574円
不動産担保型長期支援資金	0	0円	0	0円	0	0円
臨時特例つなぎ資金	0	0円	0	0円	0	0円
合計	7	2,060,000円	2	337,917円	32	8,636,914円

- ・資金貸付内訳 緊急小口資金：7件
- ・相談人数：65人
- ・償還完了件数：2件 ・償還免除件数：3件（992,078円）
- ・訪問、電話等による資金貸付相談：137件
- ・償還指導件数：30件

このほか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急小口資金（特例）貸付が令和2年3月25日から始まり、3月31日までの期間中、6件：1,200,000円の貸付申請を受付け、長野県社協へ推達しました。

(2) 暮らしのつなぎ資金貸付事業 15,000円

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時生活のつなぎ資金を必要とする場合の短期(返済期間は6ヶ月以内)の無利子融資(貸付限度額4万円)で、自立を支援しています。

10月に郵送・訪問による償還指導を行いました。が、昨年度までの長期借受者の償還はありませんでした。

《貸付実績》

資金名	令和元年度貸付		平成30年度貸付		貸付残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	1	15,000円	3	57,000円	5	133,000円

- ・相談人数：22人
- ・償還完了者：0人
- ・訪問、電話等による資金貸付相談：41件
- ・償還指導件数：10件

(3) 生活困窮者自立支援事業 575,000円

生活困窮者自立支援法に基づく家計相談支援事業を茅野市から受託し、家計における収支バランスが取れないなど、家計に問題を抱える対象者に対する相談支援を行いました。家計の管理とともに生活そのものを見直すことを促し、そのために必要な情報提供や専門的な助言・指導を実施しました。

令和元年度は、「まいさぼ茅野市」からの要望もあり、貸付事業利用者以外の相談者・世帯(9世帯)に対しても、茅野市のこども課、都市計画課、税務課、水道課の職員と共に相談支援にあたりました。

また、長野県社協が実施する『あんしん創造ねっと』に加入し、医療受給等支援事業において、障害者年金の申請における診断書料の支払いができない世帯(2世帯)に対して、病院の受診代を給付しました。

- ・実施件数：12世帯 / 18名
- ・支援終結件数：5世帯

(4) 『一握りのお米 支援米』の取り組み

不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等の支援するため支援米を募り、各支援団体にお送りしました。支援米の合計額は、平成30年度と比較し12.2%減少しました。

取組期間：10月15日(火)から12月6日(金)まで

収集実績：玄米：1,832.0kg 白米：622.0kg もち米：20.0kg 支援米合計：2,474.0kg

その他 野菜 等

ご協力いただいた方々：9グループ、33個人(市民の方)

送付先：反貧困ネット長野、SOSネットワーク諏訪、NPO法人おおぞら(大阪府)

児童養護施設つつじが丘学園 ほか

## 6 交流・ふれあい事業

(1) 希望の旅事業 334,000円

日ごろ、遠方に出かける機会の少ない障害のある方々を対象に、ゆっくりと楽しいひと時を過ごし、参加者同士の交流を深めていただくことを目的として実施しました。



実施日	行き先	参加者	内容
9月18日(水)	大月市、 甲州市など 山梨県内	障害者：8名 家族介助者・ボラ ンティアなど ：11名 計19名	リニア見学センター内見学、山梨郷土料理(おざら)ハーブ園旅日記内見学、ぶどう狩り食べ放題

(2) 介護者リフレッシュ事業

422,000円

家庭で介護をされている方々を対象に、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間づくりをしていただきました。また、介護や健康相談などに応じることで、悩みや心配事の解決を図りました。

・実施状況

実施日	行き先	参加者	内容
第1回 9月26日(木)	飯田市内	11名	昼食 飯田水引体験と養命酒工場見学
第2回 2月14日(金)	ひと・まちプラザ	17名	気になるギモンを解決! いこいの集い(がっこう)

## 7 ボランティア・市民活動推進事業

(1) ボランティア・福祉教育推進事業

2,350,789円

出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすやアイマスク体験、疑似体験等を通して、児童や生徒、先生方と一緒に『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

令和元年度は、生活課題を抱える方への個別支援と住民が中心となって取り組む地域活動への支援を通してコミュニティソーシャルワーカーが把握したニーズや情報を活かしながら、福祉教育に関わることで、住民一人ひとりが「ふだんのくらしのしあわせ」を他人事ではなく自分事として捉え、子どもから大人の誰もが福祉に関心を持ち、お互いが支え合える地域づくりへつながるように取り組みました。

実施年度	開催数	開催学校数	延参加者数
平成30年度	53回	9校	1,419名
令和元年度	58回	10校	1,892名

社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的として、各校に30,000円の補助金を交付しました。

学校名	活 動 内 容
永明小学校	けん玉で地域交流、視覚障害の方と交流、なかよし学級・ふれあい学級と交流、人とのふれあいについて考える
宮川小学校	東京オリンピック種目のポッチャを体験し、障がいの有無に関わらずできるスポーツを楽しむ。
米沢小学校	ポッチャ体験、花田養護学校児童と居住地交流、視覚障がいの方と交流し、生活の様子を知る。

豊平小学校	視覚障がいの方と交流し、親子で点字体験を通して、「目が見えないこととは？」について考える。
玉川小学校	障がいについて調べたり体験したり、また地域の方との交流を通して、障がいの理解を深める。
泉野小学校	募金活動、花の栽培と草取り、視覚・聴覚・身体障害者との交流と介助体験 グループホーム利用者・保育園児と交流
金沢小学校	高齢者との交流、視覚障害者と点字で交流、聴覚障害者と手話で交流、身体障害者と車いすバスケット体験を通して交流、異年齢、世代間交流及び養護施設との交流
湖東小学校	視覚・聴覚・身体障害者とガイドヘルプ、ゴールボール、手話、車いすバスケットを通して交流 高齢者の理解と交流、ユニバーサルデザインの理解、わくわく講座「ボランティア講座」
北山小学校	聴覚障害者との交流と手話体験・点字体験・アイマスク体験、人権講演会では、身体障害者の方のお話と車いすバスケット体験を通して交流
永明中学校	ちの地区・米沢地区の高齢者との交流、ちの保育園児との交流
長峰中学校	3校（宮川小・茅野高）合同清掃活動、PTA・育成会と一緒に地域の花壇作り
北部中学校	人権講演会「命の大切さ」を開催（講師：武井美千代）
東部中学校	身体障害者との交流と車いすバスケットの体験、高齢者施設での作業のお手伝いを通して、将来自分ができることを考える
茅野高等学校	やすらぎ喫茶(手作り菓子を持参で高齢者施設を訪問し利用者と交流)、国際交流体験活動
小学校9校、中学校4校、高等学校1校 合計14校 参加者総数：2,291名	

夏のボランティア体験「サマーチャレんじ2019」

活動プログラムを体験していく中で、ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に実施しました。

実施日	内容	協力施設	参加者
7月22日（月） ～ 8月23日（金）	高齢者や障害者の福祉施設や保育園等でボランティア体験を通じ、施設利用者や園児等との交流を深める。	市内の33施設のうち、実際の体験施設は33施設	65名（小学生7名、中学生37名、高校生14名、福祉大学生4名、専門学校生3名）

地区（区・自治会）ボランティア活動支援

地区（区・自治会）では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、各集落で工夫をしてボランティア活動が行われており、住民同士の交流の場が広がっています。

地区ボランティアの会が主催する会議やサロン等に参加し、活動の把握と活動の継続や活性化への支援に取り組みました。

・開催：地区8か所、区・自治会48か所、計56か所

開催内容	開催回数		利用者数		ボランティア数	
	地区	区・自治会	地区	区・自治会	地区	区・自治会
いきいきサロン(お茶会)	1	88	25	1,181	18	685
いきいきサロン(昼食会)	9	94	288	1,732	134	986
宅配(配食)弁当	3	26	537	1,693	93	355
その他(料理講習会、世代間交流・例会)	11	66	323	1,332	214	424

## 活動内容

- ・高齢者等への弁当の宅配：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・高齢者等を対象の昼食会：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・健康体操、脳トレゲーム ほか
- ・料理教室、おやき作り、まゆ玉作り
- ・児童、生徒の登下校の見守り
- ・育児相談会での支援と協力
- ・世代間交流（しめ縄づくり、水鉄砲づくり、カレーづくりなど）
- ・地区のコミュニティ祭りへ協力
- ・防災訓練、炊き出し訓練等への協力
- ・清拭布づくり ほか

### 地区ボランティアの会連絡会の開催

地域で活動している地区ボランティアの会と市社協の関りや支援の充実を目的に、地区・行政区の代表者のみなさんと意見交換を行いました。

	実施日	会場	参加者	内容
第1回	6月28日(金)	茅野市ひと・まちプラザ・301・302	7名	・サロン活動について ・令和元年度ボランティア活動報告について
第2回	12月6日(金)	茅野市ひと・まちプラザ・101・102	8名	・令和2年度市バスの使用について ・令和元年度ボランティア活動報告書提出について ・令和元年度ボランティア活動助成金報告書について ・貸し出し備品の紹介と使用について ・レクリエーション紹介

### 茅野市ボランティア交流会の開催

茅野市社協と活動者がつながり、活動が無理なく持続できることや活性化への支援を目的に、市内のボランティア活動団体にご参加いただき、活動発表や意見交換を行いました。

実施日	会場	参加者	内容
6月28日(金)	茅野市ひと・まちプラザ 集会室	51名	「サロンのかくし味 知食会(ししょくかい)」 ・7つの活動団体の活動発表 ・グループワーク「これから知りたいこと・活動に関する課題」

### 地区ボランティアグループの先進地視察

地区ボランティアグループ会員の資質向上や情報収集と交流を目的として実施しました。

開催日	実施グループ	視察先
9月12日(木)	中大塩地区ボランティアの会	松本市四賀地区「ぷくぷく食堂のわくわく弁当」
5月21日(火)	宮川地区ボランティアの会	長野県保健福祉事務所 内容：『のうてんき』『男の脳喝倶楽部』『昭和100年の会』

### ボランティア・市民活動助成金交付

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的

で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。( p35～38) 参照

「ボランティア・市民活動助成金交付要綱」の改定を行いました。要綱の改定に伴い、申請団体や市社協・審査委員に分かりやすい様式に改定をしました。

・交付実績合計：28団体 938,640円

どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成14年3月にベルビア1階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、運営管理を行っています。現在2つのボランティア団体(ボランティアグループどっこいしょ、ともしび会)が年間を通して月1回の活動を続けています。また、掲示板やカタログスタンドを活用して、ボランティア活動・市民活動の情報発信が行われています。

ボランティア活動相談・コーディネート

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

・相談件数：54件

備品の貸し出し状況

備品名	貸出件数
福祉用具(高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど)	20件
福祉ゲーム(HUG、クロスロード)	1件
電気機器(リズムボックス・ピンマイク・プロジェクター)	47件
テント	1件
布ボール	12件
車いす(自走用・介助用)	82件
松葉杖	1件

(2) 市民活動センター事業 13,042,950円

ゆいわーく茅野において、管理運営計画に定められた事業の6つの柱に沿った市民、市、社協の三者協働による事業を実施しました。

詳細はゆいわーく茅野より提供された、別紙令和元年度市民活動センター『ゆいわーく茅野』事業報告(p39～42)をご覧ください。

○ ボランティア保険加入状況

ボランティアの方々が安心して活動に取り組めるよう、加入促進を図りました。

保険の種類	掛金額(単価)	件数	人数
活動保険 基本タイプA	年350円×人数	134件	1,663名
活動保険 基本タイプB	年510円×人数	13件	35名
活動保険 天災タイプA	年500円×人数	10件	16名
活動保険 天災タイプB	年710円×人数	6件	6名
行商用保険(A1プラン)	1日28円×人数	75件	2,914名
行商用保険(A2プラン)	1日126円×人数	2件	43名
行商用保険(Cプラン)	1日28円×人数	2件	196名
送迎サービス補償(Aプラン)	1日20円×延利用者数	2件	170名
送迎サービス補償(Bプラン)	年間2,000円×法定乗車定員数計	0件	0名
福祉サービス総合補償(Aプラン)	1日17円×人数	1件	20名
福祉サービス総合補償(Bプラン)	1日28円×人数	1件	816名
福祉サービス総合補償(Cプラン)	1日42円×人数	2件	79名

- ・保険請求件数：2件
- ・保険金支給件数：2件
- ・大規模災害特例：47件（基本タイプA：95名、基本タイプB：12名、天災タイプA：7名、天災タイプB：5名 上記集計を含む）

## 8 共同募金配分金事業

4,762,363円

令和元年度は、茅野市社協から地区社協事業への助成、小学校・中学校・高等学校の福祉活動への助成、市内ボランティアグループへの活動助成を行いました。

各学校の福祉活動助成及びボランティア活動助成の詳細については、ボランティア・市民活動推進事業「社会福祉普及校」（p25）及び「ボランティア活動助成金」（p35～38）参照

- ・茅野市社協事業への配分 1,017,360円
- ・小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動への配分 420,000円
- ・地区社協への配分 2,246,363円
- ・市内ボランティアグループへの配分 938,640円
- 計 4,622,363円

茅野市共同募金委員会事務局

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

- ・募金期間：10月1日～12月31日
- ・募金総額：8,357,475円（H30年度8,195,363円）

災害援護金の取り組み

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しました。

- ・10世帯 140,000円

会則等の改正

茅野市社協の諸規程等の整備に伴い、「長野県共同募金会茅野市共同募金委員会会則」及び「茅野市共同募金委員会審査委員会の運営に関する規程」の一部改正を行いました。

## 居宅介護等事業

### 1 居宅介護支援事業

8,749,321円

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅での生活を送れるよう援助しました。

事業実績表

居宅介護事業所													
居宅介護支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者数	60	57	59	60	61	62	60	58	62	58	58	61	716
H30年度 "	59	60	63	60	64	65	60	60	65	59	59	58	732
介護予防利用者数	7	7	7	7	5	5	5	5	5	6	5	4	68
H30年度 "	6	6	6	6	7	7	9	8	7	7	7	7	83

## 2 訪問介護事業

58,307,748円

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し「訪問介護計画書」に沿い、安心して在宅生活が送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

### 事業実績表

訪問介護事業所													
訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険実人数	74	73	78	69	69	73	68	66	65	59	52	56	802
延利用回数	825	816	810	884	845	848	820	765	689	599	550	806	9,257
H30年度 "	1,111	1,224	1,205	1,259	1,233	1,128	1,138	1,031	933	882	873	976	12,993
介護予防実人数	24	26	28	27	29	24	22	25	30	26	24	24	309
延利用回数	152	166	160	168	152	138	136	143	175	152	130	144	1,816
H30年度 "	183	192	182	182	175	168	201	203	184	186	179	177	2,212

障害者サービス(居宅介護)													
(人)													
総合支援法 (身体・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	17	17	16	16	17	18	17	16	16	18	15	16	199
H30年度 "	15	17	16	20	18	18	19	20	18	19	18	18	216

障害者サービス(同行援護)													
(人)													
総合支援法 (身体・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23
H30年度 "	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36

障害者サービス(移動支援)													
(人)													
自立支援法 (身体・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
H30年度 "	1	1	2	4	1	2	2	3	1	1	1	1	20

## 3 西部デイサービス事業

53,336,730円

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

また、令和2年1月より、職員ローテーションの関係で土曜営業を休止いたしました。

### 事業実績表

西部デイサービスセンター													
通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険実人数	50	50	47	48	47	52	50	50	50	45	43	46	578
延利用回数	419	399	376	465	457	460	444	468	434	342	348	379	4,991
H30年度 "	481	509	498	498	494	469	530	448	390	393	366	455	5,531
介護予防実人数	12	12	13	13	11	11	12	13	12	10	10	11	140
延利用回数	76	72	71	81	62	63	59	68	64	51	55	58	780
H30年度 "	52	60	63	61	60	62	76	78	66	67	66	75	786

## 障害者福祉サービス事業

### 1 障害者相談支援事業

2,996,652円

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児の方やご家族、市町村などから相談を受け、障害のある方が福祉サービスを利用する際の計画作成や連絡調整を行いました。ニーズに合ったサービス等利

用計画を作成後、必要な福祉サービスをご利用できるよう関係者を招集してサービス等調整会議を開きました。また、数カ月一度関係者を招集してモニタリング会議を開きました。承認された計画書や報告書を市町村に提出しました。

#### 営業活動

- ・市役所福祉関係者へ引き続き周知しました。
- ・諏訪圏域障がい者総合支援センター「オアシス」にも連絡を取り、引き続き関係機関への周知をお願いしました。
- ・諏訪地域障がい福祉自立支援協議会が発行する「障がい福祉サービス利用ガイドブック」に掲載をお願いし、諏訪地域に配布いただいています。
- ・各障害者福祉事業所及び民生児童委員などにパンフレットを配布して周知を図っています。

#### 相談支援状況

- ・相談契約者：48名（内訳 茅野市47名、諏訪市1名）
- ・計画作成・モニタリング件数：143件

## 2 就労継続支援B型事業

29,827,946円

あすなろセンターにおいて、民間企業等に雇用されることが困難な障害のある方に就労の機会を提供し知識や能力向上の訓練等を行いました。

通所人員 25名（平成31年4月1日現在）

22名（令和2年3月31日現在）

#### 作業内容

ボカシ製造・販売、タップ加工、寒天袋詰め作業、にんにくの皮むき作業、スティックバラし、安全ピン組・袋詰め作業、紙の型抜き、ビニール畳み、部品組み立て作業、プラスチック板揃え、商品発送作業、薪の箱詰め、諏訪合同庁舎清掃、上古田公民館清掃作業、牛乳パック・古紙収集、アルミ缶・スチール缶収集、看板製作、シュレッダー作業、赤い羽根作業 ほか

#### 取引業者

タップ (有)茅野工業・ヨシトミ・マーシン(株)・(株)ミサキ工業、寒天 (有)イリイチ、にんにく レストラン梅蔵、スティックバラし 相吉産業(株)、安全ピン組 (株)アクティブライフ、型抜き プリテック、ビニール畳み コスモス工業(株)、部品組立 オザワ企画、プラスチック板揃え 東北テクトロン(株)、商品発送 パスウォール、薪の箱詰め ハケ岳通販、合同庁舎清掃・牛乳パック・古紙 長野県セルフセンター協議会、缶類 (有)手沢商店

総収入額 4,573,616円（令和2年3月31日現在）

必要経費 253,422円

実質収入額 4,320,194円

平均工賃 9,235円（22人としての1か月平均）

42,778円（年2回の平均手当/22人）

#### 目 標

- ・自主通所することにより社会生活の場を広げ、多くの作業種目を体験し、各行事を通して仲間と関わりあいながら、ボランティアグループ等（茅野市民生児童委員、虹の会など）との交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持を目指した活動を行いました。
- ・設定した目標工賃額（時給換算）の達成に向けて、各利用者工賃が平成30年度を上回るよう、作業量の確保に努めました。

#### 諸活動等

○年間を通して実施したもの

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施

- ・民生児童委員12回、9地区、述べ人数58名との訪問交流
- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議 毎月中旬実施

#### ○個々に実施したもの

- ・平成31年度保護者会総会 4月18日
- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 会場 茅野市運動公園 5月25日
- ・昼食会 給食センター - のソ - スかつ井で昼食 5月31日
- ・茅野どんばん行燈づくり 6月26日
- ・七夕飾りづくり 6月26日
- ・保護者会納涼祭 あすなるセンター前広場 7月26日
- ・「第38回ふれあいのつどい」への参加 会場：茅野市民館 8月25日
- ・ミニ運動会 ちの地区コミュニティセンター 11月9日
- ・保護者会臨時総会 11月19日
- ・お正月用だるまづくり 12月4・5日
- ・クリスマス飾り（クリスマスリース）製作 12月6日
- ・クリスマス会「ごんじいさんとゆかいな仲間たち」 12月9日
- ・仕事始め お正月遊び 絵馬づくり 1月6日
- ・いちご狩り 諏訪市 諏訪湖いちご園 2月27日
- ・美容奉仕サービス シャレンド（コロナ予防のため中止） 3月3日

#### ○通所者の状況及び課題

今年度の通所者は、25名で4月からスタ - トしました。6月28日をもって1名が一般就労のため退所し、24名となりました。さらに9月末には、あすなるセンター - と他のB型就労継続支援施設を併用して利用をしていた1名が、他の施設に完全移行となったため、通所者が退所されて、通所者は22名となりました。

平成24年4月に就労継続支援B型事業所に移行してから、平成30年3月で6年の指定有効期間に到達したため、更新手続きを平成30年4月から6年間の指定を受けています。

平成30年4月から給付金の支給基準が変わりました。一律であった給付金額が事業所における前年度の1人平均月額工賃の額によって変動することになってから、2年目となりました。

1人平均の月額工賃が高いほど給付金額が高くなるため、安定した施設の運営のため給付金収入を確保するには、昨年度の利用者の月額工賃を維持または増額となるように努めることが必要となります。

工賃収入の多くを占める受託加工は、受注先の企業の事情によって月間または年間で作業量及び収入が変動することがあり、受注先や作業の選択等には困難なことがあります。現状では作業量的には適量を確保できていますが、就労継続支援施設として、安定的に継続した作業量と収入額を確保することは難しいと考えています。

利用者とその家族が高齢化しており、他のサービスを併用するなど、1日当たりの通所者数が減少してきています。通所者数の減少は、給付金収入の減少にもなることから、新たな通所者との利用契約を結ぶなど、実質の通所者を増やすことも必要で課題となっています。引き続き施設等の体制を維持するとともに、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が社会人として自立し、社会参加できるよう継続的に取り組んでまいります。

#### ○受注の状況等

総収入額は、平成30年度に比べて1,265千円、約21.7%減少となりました。内訳は、第1部作



業が914千円の減少、第2部作業が351千円の減少となっています。減少となった要因は、景気の低迷と下請けへの発注状況の変化などにより、第1部作業のメインであるタップ加工の受注が大幅に減少したことによるものです。第2部作業では、景気の低迷や利用者の作業内容の変化に伴うなど、3社からの受注がなくなったための減少を新たに1社の受注と西部デいの清掃などを受けましたが、減少額を埋めるには至りませんでした。

今後も利用者の作業量と工賃を維持するため、引き続き安定的な受注の確保とともに収入の確保に努めてまいります。

#### 令和元年度 在宅福祉係 研修内容一覧

##### 研修（内部・外部）

4月10日	地域福祉行動計画研修 茅野市役所7階会議室
4月23日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・ふれあい保険福祉事業、申請、届出等確認 ・事業所からの連絡事項 ・総合事業関連及び担業務当職員について ・その他
6月12日	合同防災(火災)訓練 西部保健福祉サービスセンター
6月18日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・特養入所事務の申請書変更について ・介護負担限度額認定証について ・事例検討 利用者からのセパ・パ・ワ対応について
7月9日	・介護保険事業所研修会（訪問） 松本合同庁舎 講堂
7月22日	・介護保険事業所研修会（デイ） 松本合同庁舎 講堂
7月18日	・障害福祉サービス事業者等集団指導（訪問） 松本合同庁舎 講堂
8月20日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・研修「ゲートキ-パ-学習会～介護支援専門員が担う役割について」 講師 健康づくり推進課 臨床心理士 宮田京子先生
9月18日	第35回諏訪圏域介護保険指定事業所連絡協議会研修会 講演：「介護の常識をぶっ壊せ～生活なんだ腰痛予防対策講習会 柔道整復師の視点より」 講師：みよし接骨院 野口 邦治 氏 ・「介護人材の定着・確保」
10月9日	合同防災(火災)訓練 西部保健福祉サービスセンター 応急処置訓練：搬送訓練
10月15日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・学習会「訪問リハビリテーションって何してくれるの？」 ～制度から利用の仕方まで～ 講師 訪問看護ステーション りんどう理学療法士 西澤氏

11月12日	介護従事者等アンケート調査結果及び今後の取り組みについて説明会 茅野市役所 大ホール
11月12日	社会福祉施設等における感染症・食中毒の発生及びまん延防止等に係る研修会 諏訪合同庁舎
12月17日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所及び関連部署からの連絡事項 ・学習会「訪問リハビリテーション利用者事例検討」
2月5日	合同介護研修会（訪問介護事業所・西部デイサービス） 「介護の現場で活かせる、手話講座」 西部サービスセンター 交流室
2月17日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・講演「ケアプランの立案について」 講師 長野県介護支援専門員協会 会長 北信総合病院居宅介護支援事業所 管理者 小林 広美氏
2月25日	茅野市介護支援専門員連絡会 ・事業所からの連絡事項 ・介護保険係から連絡 ・学習会「精神疾患をもつ家族が要支援者に与える影響」
毎月	介護保険事業所サービス提供者会議（交代で出席）

## 令和元年度 ボランティア活動助成金交付団体一覧

NO	団体名 代表者名	結成年月 人数	申請 金額	交付決定 金額	返還 金額	助成対象申請事業内容
1	エンジェル絵手紙の会 倉澤重子	平成 11 年 7 月 28	40,000	40,000		・ 市内施設に配布する絵手紙作成の 為のハガキ、台紙、等の購入費用 ・ 絵手紙講座（新聞等で参加者を 募集）の講師謝礼 ・ ゆいわーく茅野ロッカーの賃借料
2	おひさまクラブ 中柄房子	平成 23 年 12 月 14	40,000	40,000		公共施設の花壇整備のための苗、 種子、培養土等の購入費用
3	親子うんどうママだ っこ 牛山明子	平成 25 年 4 月 50	40,000	40,000		・ 親子運動の講師謝礼 ・ ポスター作製の消耗品費 ・ 親子運動に必要な備品購入
4	大正琴ロマンハーブ の会 伊藤和子	平成 7 年 4 月 18	20,000	20,000		・ 対象者に喜んで頂くための新曲 の学習会及び研修会の講師謝礼 ・ 資料（DVD）、楽譜の購入費用
5	茅野おやこ劇場 古賀栄美	平成元年 4 月 158	40,000	40,000		未就園児の親子のために、仲間づ くりや集団生活への一歩を踏み出 すお手伝いとして 劇ごっこワークショップ「親子でいっし ょに劇ごっこ」を開催。劇団風 の子への公演料（謝礼）。
6	茅野市マジッククラ ブ 武藤昇	昭和 60 年 4 月 11	40,000	40,000		・ 施設を訪問時みなさんに喜んで いただくために、技術向上のため の学習会を開催、 その講師謝礼と交通費 ・ 共同使用するマジック用具の購入
7	茅野レスキューネッ ト 宮外光夫	平成 17 年 3 月 6	40,000	40,000		・ 事業に使用するプロジェクター 購入費用（新品は高額なのでイン ターネットで中古を購入予定） ・ 講習会時の資料作成の模造紙、 用紙
8	ともしび会 両角宗茂	平成 21 年 8 月 7	36,000	36,000		音楽を通して交流する場としての 歌の集いの伴奏指揮者の講師謝礼
9	ハッピースマイル 篠原優子	平成 17 年 10 月 8	40,000	40,000		・ 演奏会場が体育館など広いの で、電子楽器やマイクの音を調整 する必要があるためチューナーと つシールドケーブルを購入した い。 ・ 演奏曲目が長いため、クリップ で留めても楽譜が譜面台から演奏 中に落ちてしまうトラブルがある ため、ワイドサイズの譜面台を購 入したい。

NO	団体名 代表者名	結成年月 人数	申請 金額	交付決定 金額	返還 金額	助成対象申請事業内容
10	パーキンソン病からの贈り物の会 両角いく子	平成 14 年 3 月 22	35,000	35,000		・パーキンソン病のための運動・音楽・ヨガ療法、交流会、相談会の講師謝礼 ・絵手紙学習会の材料費
11	腹話術友の会ちの 水代彰子	平成 17 年 12 月 11	40,000	40,000		活動時に必要とするハンズフリーのマイクが会員が増えたため不足、2台購入したい。高齢者には肉声では聞こえない、また腹話術や玉すだれなどは両手を使用するため、ハンズフリーのマイクがどうしても必要。
12	ぶれジョブちの(ぶれジョブ茅野推進委員会) 林直樹	平成 26 年 4 月 32	35,000	35,000	35,000	・全国で広がっている「ぶれジョブ」活動推進のチラシや資料作成の用紙やインクの購入費用 ・広報、啓発活動用のリーフレットの印刷製本費
13	手話ダンス虹の会 篠原郁子	平成 6 年 4 月 14	40,000	40,000		・訪問活動のための手話ダンスの新曲を学ぶため、東京から講師を呼んでいる。その講師謝礼と旅費 ・CD、テープ、コピー用紙の購入費用 ・訪問活動用の衣装購入
14	米沢読書ボランティアぽっかぽか 高安弥生	平成 12 年 9 月 26	20,000	20,000		・紙芝居、人形、ペープサート等のおはなし会で使用する道具の購入費用 ・修理の材料の購入費用
15	R for I 山室典子	平成 19 年 3 月 42	40,000	40,000		支援を必要とする子どもを持つ家族の不安と悩みを軽減する「体験・情報交換会」の材料費と障害の理解と支援を学ぶ「学習会」の講師への報償費と飲み物代
16	かにさん 神津悠子	平成 3 年 10 月 15	6,000	6,000		・使用済み切手保管のためのロッカー賃借料 ・ポレポレクラブ(使用済み切手収集活動団体)への使用済み切手の送るときに必要なガムテープ、のりの購入
17	朝日のあたる家 篠原リカ子	平成 29 年 4 月 11	30,000	30,000	30,000	パネラー(県内1名、県外1名)を招き本当に役立つことを楽しみながら情報交換し共有したい。そのパネラーへの謝礼代

NO	団体名 代表者名	結成年月 人数	申請 金額	交付決定 金額	返還 金額	助成対象申請事業内容
18	傾聴ボランティアひだまり 中村アツ子	平成 17 年 11 月 20	20,000	20,000		傾聴ボランティアを続けるためのスキルアップ講座を開催、その講師謝礼の一部
19	いこーよ 北原純子	平成 30 年 3 月 20	40,000	40,000		・障害の程度に関わらず楽しめる余暇活動と保護者を伴わない余暇の自立を体験するための、活動補助者の諸謝金 ・資料印刷のインク、用紙、ファイル他消耗品の購入
20	Joiful Swim Club 野間口久子	平成 30 年 3 月 19	40,000	40,000		・支援を必要とする障害児・者が充実した社会生活を送る為に大切な余暇活動の選択肢として開催する水泳教室の講師謝礼と講師の施設利用料 ・印刷用のプリンターのインク、印刷用紙等の消耗品費
21	おきなぐさ 那須真紀	平成 27 年 8 月 6	15,000	15,000		定期的が高齢者施設での歌による音楽訪問活動をしている。活動内容のレベル向上のための講習会（一般市民も参加可能）講師謝礼と交通費
22	要約筆記グループひまわり 山本博子	平成 12 年 4 月 4	16,000	16,000		・要約筆記に必要な消耗品（投影用ロール紙、ペン類）の購入費 ・要約筆記研修会の講師謝礼と交通費
23	ベルの会 国枝百合恵	平成 21 年 2 月 1 日 5	39,640	39,640		結成以来使用して来た音響機材（マイク）とキーボードが破損や劣化したため買い換えたいので、その備品購入費
24	米沢地区ボランティアの会 竹内貞子	平成 5 年 2 月 59	40,000	40,000		・一人暮らしの高齢者が地域で安心して暮らせるための活動であるいきいきサロンと宅配弁当の給食食材費 ・高齢者に配布するクリスマスプレゼントの購入費
25	湖東ボランティアの会 仲井間淑子	平成 9 年 4 月 32	40,000	40,000		湖東地区サロンの食材費、高齢者と送迎ボランティアの昼食用弁当代、フルーツ奏者へのお礼（菓子）、会場（荒井区公民館）の利用料

NO	団体名 代表者名	結成年月 人数	申請 金額	交付決定 金額	返還 金額	助成対象申請事業内容
26	中大塩はなみずきの会 武井紀憲	平成3年7月 31	40,000	40,000		高齢者対象の昼食会、宅配弁当の給食食材費 対象者の増加と食材費の値上がりで会費やフリーマーケットの収益では賄いきれない
27	玉川ボランティアの会 牛山宏子	平成4年11月 63	40,000	40,000		・高齢者対象の七夕昼食会の給食食材費 ・小学生との交流（水鉄砲作り）の給食食材費と水鉄砲の材料費
28	ちの地区ボランティアの会 五味和美	平成9年 170	40,000	40,000		高齢者支援事業地域福祉実施のための高齢者対象の宅配弁当の給食食材費
29	宮川ボランティア愛の会 原光江	平成5年12月 113	40,000	40,000		・いきいきサロンの給食食材費 ・保育園での交流の工作用材料費
30	朗読サークル ロベリア・サフランの会 竹内郁子	平成25年10月 13	40,000	0		朗読で福祉施設を訪問しボランティア活動しているが、子どもから大人まで市民に朗読を聞いてもらい安らぎや笑顔の種まきををしたい。昨年アトリエで行ったが70名来たので今年はコンサートホールで実施したいのでその会場費
31	豊平 絵本を楽しむ会 細川 利香	平成12年8月 8	11,000	11,000		豊平小学校読書旬間に上演する人形劇のセット作成に必要な消耗品購入費、資料印刷用のインクカートリッジ代
合計	申請、交付、返還団体数		31件	30件	2件	
	申請、交付、返還団体数金額		1,043,640	1,003,640	65,000	

#### 令和元年度（平成31年度）ボランティア助成金決算

項目	件数	金額
令和元年度予算		1,188,000円
令和元年度交付決定額	30件	1,003,640円
令和元年度返還額	2件	65,000円
令和元年度交付済額	28件	938,640円

## 令和元年度 市民活動センター「ゆいわーく茅野」事業報告

市民活動・ボランティア活動をしている個人・団体のために活動場所と情報を提供し、相談を受け、その活動を推進・支援する（相談・コーディネート事業、センター管理・運営事業）		
事業名	内容	実績
コーディネーターの配置による相談活動	市民活動の相談・支援を行った。人財の紹介やボランティアコーディネート、補助金への繋ぎや申請書の書き方、活動への助言など。	相談件数（完了のみ） 48件
職員によるケース検討会の開催	ゆいわーく茅野に寄せられる相談や情報を職員が共有し、より相談者等に有意義な提案ができるよう検討会を行った。	定例 月に1回 ケース毎に随時検討
コーディネーター育成	職員のコーディネート力を充実させるため、研修会等へ参加した。	県社協ボランティアコーディネーター研修、長野県主催研修など
市民活動への会場提供及び備品貸出	まちづくりの拠点となる施設の管理、運営。適切な管理のもと、使いやすく安心して利用できる施設にしていくことで利用の促進を図った。また、市民活動団体の登録を申請する団体を対象に利用説明会を行い、適切な施設利用を周知。市民活動に利用する備品を整備し貸し出した。	市民活動登録団体 280団体 平均利用者数 3,120人/月 稼働率 平均80.6%
運営委員会・部会の開催	センター設置当初に策定された管理運営計画の見直しを行い、中期事業計画を作成した。部会では、講座の評価、社協CSWとの情報共有などをすすめた。	運営委員会 9回 ひとづくり部会 6回 つながり部会 6回 広報部会 2回
施設環境整備	予約枠を3時間毎から1時間毎へ、使用料と冷暖房費、備品使用料の統合、半面利用の廃止など、実態に合わせた利用環境を整えた。	市民活動センター条例改正

市民活動・ボランティア活動に積極的に参加する市民を増やす（市民・活動団体のニーズ把握と提案事業）		
事業名	内容	実績
みんなのまちづくり支援事業	新たな市民活動の創出を、補助金と相談・コーディネートの両面から支援し、市民活動の土壌とタネを育んだ。登録説明会や地区区長会で説明を行った。	採択事業：12事業 補助金額：1,761千円（未確定） 公開発表会参加者：16名
支援のニーズ把握、提案事業の創出	継続的にニーズが集まるよう、利用者、参加者が提案を伝えられる機会を増やした。	平成30年度活動報告書に提案や声を記入する欄を追加。イベント等アンケートへも必ず入れるようにした。

市民活動・ボランティア活動にかかわる個人・団体が積極的に情報を発信することを推進し、その情報をつなぐネットワークづくりを進める（ヒト・モノ・コト情報収集・発信事業）		
事業名	内容	実績
情報紙「ゆいわーく通信」の発行	ゆいわーく茅野の事業や活動団体の紹介等を紙媒体で行い、市民への周知を図る目的で発行。運営委員を含めた編集委員会により内容を検討している。	奇数月の「月刊ぷらざ」への挟み込みにより発行 年6回 ゆいわーく通信編集委員会 8回
ホームページの運営	ゆいわーく茅野の事業や活動団体の紹介等をインターネットで行い、活動を行う方や団体に、幅広く広報する。助成金情報の充実や、イベントでのFacebook、Instagramの活用を行った。	助成金情報 28回 HPアクセス数 6200（2020/1） （平均4400 / 月）
情報コーナーの充実	情報ボード、市民活動掲示板、みりよくBOOK、黒ボードなど、新たに市民活動団体登録をする皆さんに情報収集と提供を行い、情報コーナーの充実を図った。「ココカラ」の設置により、足を止める利用者が増えた。	
情報の収集と提供	市民活動に関わる補助金や保険等の情報、地区CCで発行している情報紙などを、収集し提供した。また、ゆいわーく茅野や市民活動に関わる情報をマスコミへ提供。	
出前講座	市の出前講座のプログラムに合わせて準備した。	0回
ざわツク活動リレー ニーズbar ココカラ	みなさんの「できます」「探してますの思いを“ココカラ”発信・受信するツールとして市民と協働で作成。	参加市民 延べ60人 1/10運用開始以降 マッチング 4件 掲示希望 4件

さまざまな市民が出会い、交流できる場となり、人と人とのつながりをつくることで、新たな市民活動・ボランティア活動を創出する（連携・協働・ネットワーク事業）		
事業名	内容	実績
みんなのがっこう	「みんながせんせい みんながせいと」をテーマに、持論、好きなこと、得意なことを話す自己表現の場、市民の多様な魅力を知る場、スタッフの企画力育成の場となった。	参加者 約300人 延べ生徒数 462人 次回参加希望 73.6%
市民活動交流会	市民活動団体、職員のネットワークづくりと情報交換のための交流会。 みんなの『ゆいわーく茅野』をキレイにしよう！をテーマに、施設や備品の使い方、コツなど掃除（机とホワイトボード）しながら話をする中で、ニーズを聞き取る機会にもなる。その後お茶会。	3/8 開催予定 30～40人 ヘビーユーザーを中心によびかける



NPO法人等交流会	市内で活動するNPO法人が、当番制で法人運営に役立つテーマを提案し、情報共有、課題解決、ネットワークづくりの場。今年度は開催できなかった。	0回
ネットワーク事業の創出	あらゆる主体、異業種、異分野の団体との連携、ネットワーク化を図る。	『ゆいわーく茅野』が関わった新たな創出事業 9件 各種講座から生まれた事業など

自ら気づき、考え、行動する人をつくり、地域づくり、まちづくり、支え合いを推進する（人財養成・育成・交流事業）		
事業名	内容	実績
ファシリテーター養成講座	会議、ミーティング等の場で、参加者の発言、合意形成や相互理解を促進するファシリテーターを養成する講座として開講した。（全4回 連続講座）	受講人数 11名（定員20名） 受講者アンケート 「よくわかった・少しはわかった」100%
伝えるコツ講座	「伝える」をテーマに基本的なコツを学び、コミュニケーション力を身につける講座として初開講した。チラシ、SNSの2テーマで行った（全2回 各回参加）。	受講人数 延べ43名（定員40名） アンケート満足度 「満足・ほぼ満足」 95.1%
ファシリテーショングラフィック講座	意思決定の場となる会議や打ち合わせにおいて、議論の進行や結果を共有し記録を残すファシリテーショングラフィックに特化した講座。	受講人数 21名（定員20名） アンケート満足度 「満足・ほぼ満足」100%
ひと・まちカレッジ	自主的に行われている市民活動の実践報告から市民活動の今を知り、各団体が抱える共通課題をテーマにフリーディスカッションを行う。	実践報告をする団体、及び参加者の集客に苦勞し、今年度は検討のうえ開催しないこととした。
まちづくりコーディネーター養成講座	ヒト・モノ・コトをつなぐコーディネーターに必要な基礎知識を学び、協働のまちづくりを行うコーディネーターを養成する講座として開講した。 講座の一部（5回）を「まちづくり講座」として公開講座とした。	【養成講座】9～3月 全9回 受講人数 10名（定員15名）  【まちづくり講座】 参加者 延べ6名
市民活動実践講座 『はじめの いっぽ！』	市民活動の「はじめの一步」講座。課題発見の手法や解決に向けた実践を学ぶ。仲間・企画・資金づくりにポイントをおいて実施。（全3回 連続講座）	2～3月 3回 受講人数 11名（定員 15名）
ボランティア基礎講座	自分自身が楽しめるボランティア活動の講演会、ボランティアを含めた参加者全員が楽しめるツールの体験講座の2回講座。	受講人数88名（定員118名） 受講者アンケート 「満足・ほぼ満足」 97.5%

障がいのある人など社会参加しにくい環境にある人に交流の場や居場所を提供する（まちの居場所育み事業）		
事業名	内容	実績
まちの居場所 『ココイコ』	地域で開催されているサロンを調査し、見える化。市民、社協CSW、ゆいわーく茅野の協働事業。	ココイコプロジェクト 11名 （市民5名 社協CSW2名 ゆいわーく 3名）で見える化を検討。 PJ全体会議 4回 デザイン会議 5回
障がいのある人などが参加する団体の利用促進	障がいのある人の当事者団体等が、使いやすい施設整備をすすめた。	障がい者の社会参加を促進する活動を行う者(団体)の3ヶ月先のネット予約を可能にした。

R1年度 個別支援活動全体集計表

大分類	中分類	小分類 個別具体例	合計	地区別内訳										
				ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	
生活状況 とニーズの 早期発見	本人・家族 からの情報 収集	本人から生活状況や困りごとなどを聞き取る	1,735	188	240	336	93	85	192	223	12	72	294	
		家族から生活状況や困りごとなどを聞き取る	374	49	30	45	56	33	13	43	9	43	53	
		自宅周辺の状況を確認する	1,154	190	29	86	45	47	204	209	2	67	275	
	他の職種・ 機関等からの 情報収集	社協担当者（事業部門を含む）から情報を収集する	357	59	16	37	61	90	13	20	18	25	18	
		SCから情報を収集する	401	39	37	29	73	58	12	71	18	51	13	
		CCから情報を収集する	6	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3	
		市担当課から情報を収集する	12	4	2	0	1	0	0	0	0	5	0	
		CMから情報を収集する	137	18	15	11	13	35	2	6	10	13	14	
		介護サービス提供者から情報を収集する	26	5	2	0	11	2	0	1	1	4	0	
		医療関係者（Dr、NS、MSW等）から情報を収集する	58	15	6	11	6	7	0	10	1	2	0	
		法的な専門家（弁護士・司法書士等）から情報を収集する	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		成年後見人等から情報を収集する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		警察から情報を収集する	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
		郵便局から情報を収集する	8	1	0	0	3	0	3	1	0	0	0	
		金融機関から情報を収集する	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
		民間事業所（介護サービス以外）から情報を収集する	47	18	9	8	0	0	7	0	4	1		
		地域住民から の情報収集	民生児童委員・児童委員・主任児童委員から情報を収集する	198	45	16	10	26	11	12	28	5	16	29
	保護司から情報を収集する		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地域の役員（区長・福祉推進委員・地区社協役員等）から情報を収集する		23	2	2	0	6	0	4	0	4	3	2	
	ボランティアから情報を収集する		27	2	5	4	0	5	0	8	1	2	0	
	サークル活動（者）から情報を収集する		2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	地域住民（「等」を削除）から情報を収集する	138	35	6	22	1	6	4	29	2	6	27		
	サービス や制度の 利用に向けた 間接的な 支援	フォーマル サービス へのつなぎ	市の担当窓口を紹介する	32	0	3	6	2	0	1	3	0	6	11
			介護保険サービスの情報を提供する	46	1	0	6	2	1	0	19	3	10	4
			自立支援サービスの情報を提供する	7	0	0	0	1	0	0	5	1	0	0
			子育て支援サービスの情報を提供する	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
			成年後見制度の情報を提供する	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0
上記以外の公的サービスの情報を提供する		33	4	0	3	0	0	5	10	2	4	5		
インフォー マルサービス へのつなぎ		社協事業の情報を提供する	313	21	26	13	49	45	0	24	23	32	80	
		民間サービスの情報を提供する	60	3	3	4	4	0	0	26	2	12	6	
		地域の取り組みを紹介する	110	1	13	2	0	0	0	35	1	6	52	
		支援サービスの利用調整をする（日程調整を含む）	139	3	10	13	48	36	0	2	6	4	17	
	サークル活動等の利用調整をする（日程調整を含む）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
生活課題 の解決に 向けた 直接的な 支援	日常的な 支援	支援サービスに立ち会う・同行する	16	0	2	0	11	1	0	2	0	0	0	
		サークル活動等に立ち会う・同行する	14	0	0	0	0	6	0	8	0	0	0	
		サービスの利用申請・中止を援助・代理する	89	13	0	10	21	28	5	1	0	3	8	
		地域の取り組みへの参加を働きかける	125	13	0	5	0	1	0	37	0	2	67	
		生活状況の改善を助言する	59	0	9	3	26	4	0	7	0	1	9	
		最低限の生活支援を行う	21	0	2	3	0	3	3	5	2	0	3	
		手紙、書類等の代筆・代読をする	15	0	0	1	3	5	1	3	0	0	2	
		家族に生活状況を連絡する	5	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	
	トラブル（家族・近隣・職場等）の調整をする	13	1	0	3	0	1	0	5	0	0	3		
	緊急時対応	家族に緊急連絡をする	15	3	2	0	7	2	0	0	0	1	0	
		各機関（CM・SC・民生・上司）へ緊急連絡をする	5	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	
		救急車を呼ぶ	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	
警察を呼ぶ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
周辺環境 の整備と 調整	他の職種・ 機関等への 情報提供	社協担当者（事業部門を含む）へ情報を提供する	191	3	10	14	45	48	1	25	10	26	9	
		SCへ情報を提供する	277	13	18	17	53	25	12	71	6	40	22	
		CCへ情報を提供する	9	0	0	1	0	0	0	3	0	2	3	
		市担当課へ情報を提供する	11	1	0	2	5	0	0	0	0	3	0	
		CMへ情報を提供する	50	0	6	4	4	8	0	3	7	7	11	
		介護サービス提供者へ情報を提供する	10	1	1	0	1	1	0	1	0	4	1	
		病院関係者（Dr、NS、MSW等）へ情報を提供する	21	0	2	3	3	2	0	9	0	2	0	
		法的な専門家（弁護士・司法書士等）へ情報を提供する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		成年後見人等へ情報を提供する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		警察へ情報を提供する	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
		郵便局へ情報を提供する	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
		金融機関へ情報を提供する	6	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	
		民間企業（介護サービス以外）へ情報を提供する	13	6	3	1	0	0	0	3	0	0	0	
		地域住民等 への 情報提供	民生児童委員・児童委員・主任児童委員へ情報を提供する	104	5	2	7	18	4	4	28	4	11	21
	保護司へ情報を提供する		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地域の役員（区長・福祉推進委員等）へ情報を提供する		14	0	0	1	4	0	0	0	4	3	2	
	ボランティア・サークル活動（者）へ情報を提供する		9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	
	地域住民等へ情報を提供する		27	3	1	0	1	3	0	17	1	1	0	
	状況調査	社協担当者等と同行訪問をする	26	3	7	1	5	6	0	3	0	1	0	
		各機関（CM・SC・民生・上司・担当者等）と同行訪問をする	133	13	38	3	17	21	2	25	3	10	1	
		地域住民等と同行訪問をする	25	1	10	2	3	2	0	6	1	0	0	
	支援会議	社協職員間で対応を話し合う	51	1	3	4	37	4	1	0	0	0	1	
		SC職員と対応を話し合う	114	3	5	2	89	6	3	2	0	4	0	
		担当者会議、カンファレンスに出席する	21	0	8	0	3	3	0	5	0	2	0	
	地域での 基盤づくり	支援協力のため、地域で話し合いの場を設ける	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		地域住民等へ見守り、声かけ等の協力を依頼する	38	6	0	0	7	1	0	15	0	2	7	
		地域事業者へ見守り、声かけ等の協力を依頼する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
社協事業への協力を促す		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
地域活動への参加を促す		20	0	0	3	0	0	2	11	0	0	4		
ボランティア活動への参加を促す	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
計			7,016	799	604	740	874	651	500	1,079	160	522	1,087	

R1年度 地域支援活動全体集計表

大分類	中分類	主な活動の内容	合計	地区別内訳										
				ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	
事務的対応	打合せ・協議	CCと協議	345	8	12	40	109	41	24	11	9	57	34	
		SCと協議	72	0	0	6	31	3	8	0	2	17	5	
		CC&SCと協議	56	0	6	7	6	0	3	12	16	5	1	
		地区4者協議(担当部門・CC・SC)	16	0	1	2	2	1	2	2	2	2	2	
		行政担当部門との協議	20	0	0	0	4	4	0	0	0	7	5	
		社協内職員と協議(会議含む)	28	0	0	2	7	0	0	0	1	9	9	
		役員・実行委員(の一部)等と事前協議	439	17	5	32	113	82	28	18	11	65	68	
	事前準備	会議・事業等の内容検討	221	9	16	6	87	24	10	5	23	16	25	
		資料等の作成・印刷	335	2	39	19	74	66	20	3	27	44	41	
		開催通知・参加依頼・資料発送等	75	3	0	0	10	34	3	5	7	11	2	
		相手先・講師等との折衝	314	14	3	19	76	96	7	7	9	63	20	
		必要物品等の手配・購入	124	2	0	10	20	45	5	5	5	16	16	
		会場準備	136	1	0	20	7	26	7	33	16	9	17	
		事後処理	209	2	0	57	3	20	11	32	18	10	56	
	事後処理	会議録・事業記録等の整理	95	0	0	6	17	37	3	12	7	4	9	
		支払い・精算等の会計処理	42	0	0	0	2	11	3	19	1	6	0	
		物品等の片付け・返却等	33	0	0	1	0	12	0	2	2	4	12	
		欠席者への結果通知等の発送・連絡	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
		お礼状の送付等	11	0	0	4	2	1	0	0	1	2	1	
		反省会・振り返りの会に出席	43	0	0	8	0	20	1	5	0	1	8	
		主体的な参加:説明等主要な役割あり	119	1	22	10	18	20	7	3	13	18	7	
地域の会議に出席	主体的な参加:補佐・手伝い等補助的役割	77	5	11	2	14	2	3	3	7	3	27		
	要請による参加:説明等主要な役割あり	32	0	0	1	7	14	0	5	1	3	1		
	要請による参加:補佐・手伝い等補助的役割	36	13	0	2	7	1	0	7	4	0	2		
	要請による参加:オブザーバー等	12	2	0	0	0	0	0	2	0	5	3		
	自主的な参加:参観や情報収集、助言等	30	15	1	0	3	1	4	0	2	3	1		
	事務レベルの内部完結会議・研修等	11	4	2	0	0	1	0	0	2	0	2		
	地区協議体(生活支援Co)	主体的な参加:説明等主要な役割あり	27	1	16	1	1	4	0	0	3	1	0	
主体的な参加:補佐・手伝い等補助的役割		10	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5		
地区内各種団体等との協議		7	4	0	0	1	0	0	0	0	1	1		
地域活動への支援	事業・研修・視察等に参加	地区内事業所等との協議	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0		
		主体的な参加:説明等主要な役割あり	65	4	0	1	11	9	2	23	3	10	2	
		主体的な参加:補佐・手伝い等補助的役割	72	2	8	3	6	19	2	4	3	4	21	
		要請による参加:説明等主要な役割あり	24	2	0	0	5	10	2	3	0	2	0	
		要請による参加:補佐・手伝い等補助的役割	43	6	0	5	5	8	1	4	8	2	4	
		要請による参加:オブザーバー等	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
		自主的な参加:参観や情報収集、助言等	98	29	1	0	2	3	26	0	1	13	23	
	住民活動への支援	活動等についての相談受付	118	7	3	17	25	11	1	23	2	18	11	
		活動等についての情報収集	301	51	15	72	36	16	13	26	6	40	26	
		活動等についての情報提供	169	28	1	6	26	18	3	24	10	29	24	
		支援内容等について検討	11	0	0	0	1	1	0	0	4	3	2	
		福祉意識の啓発・醸成	61	8	0	0	0	4	0	1	5	4	39	
		事業の見直し・立上げ等について提言	22	0	0	0	2	4	0	7	1	4	4	
		地域の情報誌の発行(取材・編集等を含む)	41	5	1	4	0	9	3	2	0	2	15	
	地域懇談会(生活支援Co)	地域活動に対する事務的な支援	120	0	32	0	3	25	6	2	16	15	21	
		Vr・コーディネート	34	0	0	0	10	20	0	1	0	1	2	
		主体的な参加:説明等主要な役割あり	25	0	0	0	4	16	0	0	1	3	1	
		主体的な参加:補佐・手伝い等補助的役割	23	1	0	0	0	20	0	0	0	0	2	
		要請による参加:説明等主要な役割あり	5	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	
		要請による参加:補佐・手伝い等補助的役割	5	1	0	0	0	3	0	0	1	0	0	
		要請による参加:オブザーバー等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
自主的な参加:参観や情報収集、助言等	9	0	0	0	0	0	5	0	0	0	4			
福祉教育	実施内容について内部検討	35	1	0	0	9	16	0	4	3	2	0		
	出前講座等の開催の呼びかけ	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
	関係者との事前協議	132	2	4	0	16	85	2	7	6	10	0		
	出前講座等を実施	52	6	3	0	7	7	4	7	15	3	0		
	関係者との事後協議	22	0	0	0	2	11	1	5	1	2	0		
		計	4,483	257	216	363	792	890	220	334	277	551	583	

令和元年度 研修参加 一覧

	総務・企画係				地域福祉活動推進係			
	日時	場所	内容	出張職員	日時	場所	内容	出張職員
4月					4月28日	梓水苑	GWT春の学習&スキルアップ研修会	武澤一枝・下家寿美
5月					5月10日	塩尻市総合文化センター	市町村社協実務者会議	吉瀧佐知
6月					6月17日	松本市勤労者福祉センター	地域福祉の方向性と地域福祉Coの役割	米津康之・下向由紀子・上條恵美
7月					7月12日	塩尻市総合文化センター	信州くらしの支えあいネットワーク全大会	湯田坂九海
8月	8月1日	長野市社会福祉総合センター	市町村労務セミナー	丸茂丈実・小尾宣義	8月8日	東京都文京区社協	東京都文京区社協視察研修	湯田坂九海・米津康之・鈴木敦子・下向由紀子
	8月27日	塩尻市総合文化センター	R1社会福祉協議会トップセミナー	丸茂丈実・竹内武	8月20日 21日	深志神社梅風閣	コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修	米津康之・倉澤紀章・上條恵美
9月					9月2日	塩尻市総合文化センター	「福祉教育のススメ」拡大研究会	米津康之・吉瀧佐知・鈴木敦子・下向由紀子・上條恵美・伊藤千佳子・守屋敬子
					9月13日	諏訪合同庁舎	地域防災力向上に向けた取り組みに関する市町村説明会	吉瀧佐知
10月					9月13日	松本市勤労者福祉センター	社会福祉協議会職員基礎研修	小口亜耶・上條恵美・下向由紀子
	10月17日	伊那市文化会館	パートタイム・有期雇用労働法セミナー	丸茂丈実・小尾宣義	10月4日	中島地区地域交流センター	まちあるきワークショップ	米津康之・下向由紀子・上條恵美
					10月15日	千曲市総合観光会館	住民参加とコーディネーション	米津康之・下向由紀子・上條恵美
					10月25日	ホクト文化ホール	持続可能な地域を目指す小規模多機能自治	米津康之・下向由紀子・上條恵美
11月	11月13日 ～15日	中央福祉学院	会計実務講座(初級編)	山内美由紀	11月6日	長野県総合教育センター	ファシリテーショングラフィックの取得	下向由紀子・上條恵美
12月					12月9日	長野県看護協会会館	長野県住民主体の通いの場推進研修	湯田坂九海・守屋敬子・倉澤紀章・下向由紀子・小口亜耶・上條恵美・伊藤千佳子
1月	1月18日	長沼農産物直売所アグリながぬま	台風19号災害支援のこれからを考えるための振り返りセミナー	山内美由紀	1月17日	長野県社会福祉総合センター	長野県災害福祉支援ネットワークセミナー	米津康之・下向由紀子・上條恵美
					1月22日	長野県総合教育センター	活動プログラム作り	米津康之・下向由紀子・上條恵美
2月	2月18日	松本市音楽文化ホール	パワー・ハラスメント防止対策等に関する改正法説明会	丸茂丈実・小尾宣義				
3月								

令和元年度 研修参加 一覧

	日常生活支援係				在宅福祉係			
	日時	場所	内容	出張職員	日時	場所	内容	出張職員
4月								
5月	5月10日	塩尻市総合文化センター	市町村社協実務者会議	小池恭平				
	5月22日	浅間温泉文化センター	日常生活自立支援事業及び生活福祉資金貸付事業会議	小池恭平・今井あつ子・川本恭子				
6月								
7月	7月5日	長野市若里市民文化ホール	生活困窮者支援推進セミナー	小池恭平・川本恭子	7月9日 22日	松本合同庁舎	介護保険事業所研修会	波間道子・内藤真穂
	7月6日	中商信運転免許センター	移送サービス運転講習会	北原俊憲・伊藤かつ子	7月18日	松本合同庁舎	障害者福祉サービス事業者集団指導	内藤真穂・武居智美
	7月12日	塩尻市総合文化センター	信州くらしの支えあいネットワーク全大会	伊藤かつ子				
	7月17日 ～18日	全社協瀬尾ホール	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修	小池恭平				
8月	8月7日～ 8月9日	全社協瀬尾ホール	家計改善支援事業従事者養成研修	小池恭平	8月9日	塩尻市総合文化センター	介護職員等特定処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算説明会	鮎澤弘和・細田道郎
					8月21日	松本合同庁舎	障害者福祉サービス事業者集団指導	鮎澤英行・細田道郎
9月	9月16日～ 9月19日	東京ベイ幕張ホール	R1成年後見制度利用促進体制整備研修	北原俊憲	9月5日	長野県生涯学習推進センター	地域の教育力向上研修	武居智美
	9月25日～ 9月27日	全社協瀬尾ホール	家計改善支援事業従事者養成研修	北原俊憲	9月13日	松本市勤労者福祉センター	社会福祉協議会職員基礎研修	坂野洋子・飯塚幸美・三浦めぐみ
	9月27日	塩尻市保健福祉センター	長野県内成年後見支援センター実務者勉強会	小池恭平・川本恭子				
10月					10月9日	浅間温泉文化センター	サービス管理責任者・発達支援管理責任者更新研修	諸橋恵子
11月	11月7日	豊科文化ホール	成年後見制度利用促進実務担当者研修会	川本恭子				
12月	12月4日	浅間温泉文化センター	権利擁護推進セミナー	小池恭平・今井あつ子・小澤佳奈				
	12月16日～ 18日	東京都江東区TFTビル	R1成年後見制度利用促進体制整備研修	北原俊憲				
	12月24日	長野県社会福祉総合センター	ゲーム依存症対策研修会	川本恭子				
1月	1月18日	長沼農産物直売所アグリながぬま	台風19号災害支援のこれからを考えるための振り返りセミナー	小池恭平	1月15日 16日	浅間温泉文化センター	障がい者相談支援従事者現任研修	諸橋恵子
					1月15日	高崎アーバンホテル	デイサービス収益改善セミナー	鮎澤弘和
2月	2月19日	長野県社会福祉総合センター	再犯防止推進ネットワーク研修	小池恭平・今井あつ子	2月14日	浅間温泉文化センター	障がい者相談支援従事者現任研修	諸橋恵子
					2月21日	諏訪市総合福祉センター	R1新任職員研修	日浦幸佳
3月	3月19日	塩尻市総合文化センター	生活福祉資金特例貸付に関する担当者会議	北原俊憲				